



第81回国民スポーツ大会
第26回全国障害者スポーツ大会
宮崎県準備委員会



第2回警備・消防・防災専門委員会

報告事項



つむぎ感動神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会



第26回全国障害者スポーツ大会

令和5年11月17日（金）

宮崎県防災庁舎防71・72号室

目 次

○ 目 次	1
1 報 告	
（1） [国スポ・障スポ]大会準備経過等	2～5
（2） 宮崎県準備委員会決定事項	
① [国スポ・障スポ] 大会会期本案	6
② [国スポ・障スポ] 正式競技開催予定施設の変更	7
③ [国スポ・障スポ] デモンストラーションスポーツ実施競技及び 会場地市町村第3次選定	8
④ [障スポ] オープン競技実施基本方針	9
⑤ [国スポ] 記録業務基本方針	10
⑥ [国スポ・障スポ] 宿泊基本計画改正	11～12
⑦ [国スポ・障スポ] 警備・消防・防災基本方針	13
⑧ [国スポ・障スポ] 式典基本構想	別冊
⑨ [国スポ] 第81回国民スポーツ大会 正式競技 会場地市町村第10次選定	14
⑩ [国スポ] 第81回国民スポーツ大会 正式競技 開催予定施設の変更 ・・・・・・・・・・・・・・・・	15～20
⑪ [国スポ・障スポ] 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者 スポーツ大会文化プログラム実施基本計画	21～23
（3） 燃ゆる感動かごしま国体・大会の警備・消防・防災業務	24～33

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会準備経過

年 月 日	内 容
平成27年 1月14日	公益財団法人宮崎県体育協会（以下「県体協」という。）臨時理事会及び評議員会において、「平成38年第81回国民体育大会の宮崎県開催招致」を決議
2月12日	県体協が県、県議会及び県教育委員会に「平成38年第81回国民体育大会の宮崎県開催招致要望書」を提出
2月25日	知事が県議会2月定例会において、「平成38年第81回国民体育大会及び第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催招致」を表明
3月13日	県議会2月定例会において、「平成38年第81回国民体育大会及び第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催招致に関する決議」を全会一致で議決
3月16日	定例教育委員会において、「平成38年第81回国民体育大会及び第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催招致に関する決議」を議決
4月17日	知事が文部科学省に「平成38年第81回国民体育大会開催要望書」と「平成38年第26回全国障害者スポーツ大会開催要望書」を提出 知事が公益財団法人日本体育協会（以下「日体協」という。）に「平成38年第81回国民体育大会開催要望書」を、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会に「平成38年第26回全国障害者スポーツ大会開催要望書」を提出
6月11日	日体協第1回国体委員会において、「平成38年第81回国民体育大会開催申請書提出順序了解県」として承認
7月22日	日体協第3回理事会において、「平成38年第81回国民体育大会開催申請書提出県」として了解（宮崎県開催が内々定）
平成29年10月30日	第81回国民体育大会宮崎県準備委員会設立総会・第1回総会及び第1回常任委員会を開催
11月14日	第1回総務企画専門委員会及び第1回施設整備専門委員会を開催
11月17日	第1回競技運営専門委員会を開催
12月14日	第1回市町村担当者会議及び第1回競技団体担当者会議を開催
平成30年 5月22日	第2回総務企画専門委員会を開催
7月 9日	第2回常任委員会及び第2回総会を開催
7月24日	第1回広報・県民運動専門委員会を開催
7月31日	第2回市町村担当者会議及び第2回競技団体担当者会議を開催
10月29日	第3回総務企画専門委員会を開催
12月19日	第2回競技運営専門委員会及び第2回広報・県民運動専門委員会を開催
平成31年 1月31日	第3回常任委員会を開催
2月 6日	第4回総務企画専門委員会を開催
3月15日	第3回市町村担当者会議及び第3回競技団体担当者会議を開催

年 月 日	内 容
令和元年 5月30日	第5回総務企画専門委員会を開催
7月 1日	第4回常任委員会及び第3回総会を開催 「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会」に改称
7月 9日	第3回広報・県民運動専門委員会を開催
8月 2日	第1回開催基本構想策定検討部会を開催
8月28日	第4回市町村担当者会議及び第4回競技団体担当者会議を開催
11月12日	第6回総務企画専門委員会を開催
12月16日	第1回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
12月17日	第2回開催基本構想策定検討部会を開催
12月20日	第5回市町村担当者会議及び第5回競技団体担当者会議を開催（合同開催）
令和2年 1月16日	第1回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催
1月31日	第7回総務企画専門委員会を開催
2月 5日	第4回広報・県民運動専門委員会を開催
2月 7日	第3回開催基本構想策定検討部会を開催
2月17日	第5回常任委員会を開催
3月18日	第6回市町村担当者会議及び第6回競技団体担当者会議（資料配付のみ）
6月25日	第8回総務企画専門委員会を開催
6月25日	第2回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催
7月 6日	第6回常任委員会を開催
9月18日	第2回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催（書面開催）
8月 7日	第4回総会を開催（書面開催）
8月20日	第7回市町村担当者会議を開催（テレビ会議）
8月24日	第7回競技団体担当者会議を開催
9月24日	第3回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催
10月15日	日本スポーツ協会臨時国体委員会において、本県の国民スポーツ大会開催年が令和9年（2027年）に変更され、開催申請書提出順序了解県（内々定県）として再決定
11月 9日	第5回広報・県民運動専門委員会を開催
12月18日	第3回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
12月23日	第1回輸送・交通専門委員会を開催
12月24日	第3回競技運営専門委員会を開催
令和3年 1月22日	第9回総務企画専門委員会を開催（書面開催）
2月15日	第7回常任委員会を開催（書面開催）
3月18日	第6回広報・県民運動専門委員会を開催
3月22日	第8回市町村担当者会議を開催（テレビ会議）

年 月 日	内 容
3月23日	第1回宿泊・衛生専門委員会を開催
6月 8日	第4回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
6月 9日	第10回総務企画専門委員会を開催
7月 5日	第8回常任委員会を開催
8月 6日	第5回総会を開催（書面開催）
10月11日	第9回市町村担当者会議・第8回競技団体担当者会議を開催（合同開催）
11月22日	第2回輸送・交通専門委員会を開催
12月15日	第4回競技運営専門委員会を開催
12月17日	第2回宿泊・衛生専門委員会を開催
12月20日	第11回総務企画専門委員会を開催
12月21日	第5回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
令和4年 2月14日	第9回常任委員会を開催（書面開催）
3月16日	県議会2月定例会において「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会の開催」を決議
3月17日	第1回式典専門委員会を開催
3月22日	第7回広報・県民運動専門委員会を開催
4月25日	第10回市町村担当者会議を開催
6月 1日	文部科学省及び日本スポーツ協会に「第81回国民スポーツ大会開催申請書」を提出
7月12日	第12回総務企画専門委員会を開催
7月14日	日本スポーツ協会第3回理事会において、「第81回国民スポーツ大会」の宮崎県開催が内定（国スポ内定に伴い第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催が併せて内定）
8月22日	第10回常任委員会を開催
8月31日	第8回広報・県民運動専門委員会を開催
9月16日	第6回総会を開催（書面開催）
10月25日	第5回競技運営専門委員会を開催
11月 9日	第1回馬事衛生専門委員会を開催
11月16日	第11回市町村担当者会議を開催
11月21日	第1回イメージソング選定部会を開催
12月 6日	第6回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
12月 9日	第13回総務企画専門委員会を開催
12月14日	第9回広報・県民運動専門委員会を開催
12月20日	第2回式典専門委員会を開催
12月22日	第3回宿泊・衛生専門委員会を開催
令和5年 1月12日	第1回警備・消防・防災専門委員会を開催
2月 1日	第11回常任委員会を開催
2月13日	第3回輸送・交通専門委員会を開催
5月12日	第12回市町村担当者会議を開催

年 月 日	内 容
6月29日	第1回医療救護専門委員会を開催
7月 6日	第1回式典音楽部会を開催
7月12日	第14回総務企画専門委員会を開催
7月14日	第1回式典演技部会を開催
7月31日	第12回常任委員会及び第7回総会を開催
9月25日	第2回イメージソング選定部会を開催
10月 5日	第10回広報・県民運動専門委員会を開催
11月 7日	第2回馬事衛生専門委員会を開催
11月13日	第13回市町村担当者会議を開催
11月16日	第3回式典専門委員会を開催

第８１回国民スポーツ大会・第２６回全国障害者スポーツ大会 会期（案）

第８１回国民スポーツ大会・第２６回全国障害者スポーツ大会会期案を次のとおりとする。

１ 国民スポーツ大会会期（案）

希望順位	日程
１	令和９年９月２５日（土）～１０月５日（火）
２	令和９年９月２６日（日）～１０月６日（水）
３	令和９年９月１９日（日）～９月２９日（水）

２ 全国障害者スポーツ大会会期（案）

希望順位	日程
１	令和９年１０月２３日（土）～１０月２５日（月）
２	令和９年１０月９日（土）～１０月１１日（月）

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会
正式競技 開催予定施設の変更

第 8 1 回国民スポーツ大会正式競技会場地市町村第 2 次選定（平成 3 1 年 1 月 3 1 日 第 3 回常任委員会決定）において選定したバレーボール競技・6 人制（少年女子）及び第 4 次選定（令和元年 7 月 1 日 第 4 回常任委員会決定）において選定した体操競技・トランポリン（全種別）並びに、第 2 6 回全国障害者スポーツ大会正式競技会場地市町村第 2 次選定（令和 3 年 7 月 5 日 第 8 回常任委員会決定事項）において選定したバレーボール競技（精神）の開催予定施設を、次のとおり変更する。

第 8 1 回国民スポーツ大会 正式競技

競技（種目）		種 別	市町村	開催予定施設	
				変更前	変更後
バレー ボール	6 人制	少年女子	小林市	<u>小林市市民体育館</u>	<u>（仮称）健幸のまちづ くり拠点施設</u>
体操	トラン ポリン	全種別			

第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 正式競技

競 技 名	障がい 種別	会場地 市町村	開催予定施設	
			変更前	変更後
バレーボール	精神	小林市	<u>小林市市民体育館</u>	<u>（仮称）健幸のまちづ くり拠点施設</u>

第81回国民スポーツ大会 デモンストレーションスポーツ 実施競技及び会場地市町村第3次選定

番号	実施競技	主管団体名	市町村	開催予定施設
1	3B体操	公益社団法人日本3B体操協会宮崎県支部	延岡市	新宮崎県体育館
2	ウォーキング	延岡市スポーツ推進委員協議会		新宮崎県体育館周辺
3	ウォーキング	えびの市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	えびの市	えびの市文化の杜～木崎原古戦場跡
4	健幸増進グラウンド・ゴルフ	高原町グラウンド・ゴルフ協会	高原町	高原町総合運動公園多目的芝生広場
5	スポーツウエルネス吹矢	宮崎県スポーツウエルネス吹矢協会	国富町	アリーナくにとみ
6	ミニテニス	宮崎県ミニテニス協会	綾町	綾てるはドーム
7	エンジョイエアロビック	宮崎県エアロビック連盟	木城町	木城町体育館
8	enjoy T&F GP	特定非営利活動法人都農enjoyスポーツクラブ	都農町	藤見公園陸上競技場
9	ラジオ体操	都農町スポーツ推進委員協議会		藤見公園陸上競技場
10	モルック	高千穂町教育委員会	高千穂町	国見ヶ丘 ※雨天時は高千穂町武道館
11	森林セラピーウォーキング	日之影町森林セラピー推進協議会	日之影町	TR鉄道跡地散策コース

第 26 回全国障害者スポーツ大会 オープン競技実施基本方針

第 26 回全国障害者スポーツ大会におけるオープン競技は、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱（公益財団法人日本パラスポーツ協会（以下「日本パラスポーツ協会」とする）制定）に定めるもののほか、この基本方針により実施する。

1 趣 旨

障がい者スポーツの一層の普及・振興を図る観点から、第 26 回全国障害者スポーツ大会において、全国障害者スポーツ大会競技規則（日本パラスポーツ協会制定）に定める個人競技及び団体競技（以下「正式競技」とする）以外の競技をオープン競技として実施する。

なお、オープン競技は、正式競技の開催に支障のない範囲で実施するものとする。

2 募 集

広く障がい者の間にスポーツを普及する観点から有効と認められる競技について、県内の関係団体等へ公募する。

3 運営・経費

オープン競技の実施を希望する団体（以下「実施団体」とする）は、競技会開催にあたり必要な業務について、すべての運営を行う。

また、競技会開催に係る経費については、実施団体の負担とする。

4 選定基準

実施するオープン競技の選定基準は、次のとおりとする。

- (1) 実施団体が、自主運営により競技会を実施できること。
- (2) 県内に出場可能な選手・チームが存在すること。
- (3) 県外の選手・チームが出場できるルールが確立している競技であること。
- (4) 既設の競技施設により実施可能であること。
- (5) 原則として、第 26 回全国障害者スポーツ大会の開催期間内に実施が可能であること。

第 8 1 回国民スポーツ大会 記録業務基本方針

第 8 1 回国民スポーツ大会における競技成績等記録の収集・発表及び総合成績の算出に関する業務（以下「記録業務」という。）は、公益財団法人日本スポーツ協会の定める「国民体育大会開催基準要項」、「同細則」及び「国民体育大会記録情報処理要項」に基づき行うほか、次の基本方針により実施する。

1 記録業務の推進

県、会場地市町村及び関係競技団体は、記録業務を分担し、相互に連携を図りながら、正確かつ迅速に記録業務を推進する。

2 記録本部の設置

県及び会場地市町村は、記録業務を円滑に推進するため、それぞれ記録本部を設置する。

3 記録システムの使用

県は、記録業務を効率的に実施するため、競技成績等記録を正確かつ迅速に処理することのできる記録システムを使用する。

4 その他

この方針に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

第８１回国民スポーツ大会・第２６回全国障害者スポーツ大会 宿泊基本計画

第８１回国民スポーツ大会・第２６回全国障害者スポーツ大会宿泊基本方針に基づき、県、会場地市町村及び関係機関・団体等は、相互に緊密な連携を図り、第８１回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）及び第２６回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）の宿泊業務を円滑に推進する。

１ 配宿業務の実施

（１） 宿舎に関する調査の実施

[国スポ]

選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他の関係者（以下「参加者」という。）の配宿計画の作成に資するため、県と市町村が連携し、宿舎に関する調査を実施する。

[障スポ]

参加者の配宿計画の作成に資するため、県は、宿舎に関する調査を実施する。

（２） 宿泊予定者数の把握

配宿計画の作成に必要な各都道府県の宿泊予定者数を把握するため、県は、各都道府県等への宿泊意向調査を実施する。

（３） 仮配宿計画の作成

[国スポ]

宿舎に関する調査、先催県の参加者の実績及び宿泊意向調査に基づき、県と会場地市町村が連携し、仮配宿計画（会場地市町村ごとに参加者をどの宿泊施設に割り振るかのシミュレーションを行い作成した計画をいう。以下同じ。）を作成する。

[障スポ]

宿舎に関する調査、先催県の参加者の実績および宿泊意向調査に基づき、県は、仮配宿計画を作成する。

（４） 宿泊施設の充足対策

[国スポ]

仮配宿計画において、会場地市町村内の旅館（旅館業法の許可を受けて営業を行う旅館、ホテル及び簡易宿所をいう。以下同じ。）のみでは参加者の収容が困難な場合は、会場地市町村が、会場地市町村内の旅館の客室提供の促進、近隣（原則として県内）市町村旅館の利用、公共施設等の転用及び民家の利用など、必要な充足対策を行う。

なお、充足対策が円滑に遂行できるよう、必要に応じ、県及び会場地市町村等による連絡会議を設置する。

[障スポ]

仮配宿計画において、会場地市町村内の旅館のみでは参加者の収容が困難な場合は、県は、広域配宿を行うなど必要な充足対策を行う。

（５） 配宿計画の作成

[国スポ]

県と会場地市町村は、仮配宿計画等に基づき、市町村ごとの宿泊人数を調整の上、配宿計画を作成する。

[障スポ]

県は、仮配宿計画等に基づき、市町村ごとの宿泊人数を調整の上、配宿計画を作成する。

(6) 宿泊環境の整備

[障スポ]

参加者が快適に宿泊できるよう、県は、必要に応じて、宿泊支援用具等を準備するなど、宿泊環境の整備に努める。

2 宿泊本部の設置

[国スポ]

宿泊申込み及び変更、取消しに関する一連の業務を迅速かつ正確に処理するため、県及び会場地市町村に宿泊本部を設置する。

[障スポ]

宿泊申込み及び変更、取消しに関する一連の業務を迅速かつ正確に処理するため、県に宿泊本部を設置する。

3 宿泊料金の決定

[国スポ]

参加者の宿泊料金については、先催県の事例も参考に、県が旅館等の関係団体との協議結果を踏まえ、公益財団法人日本スポーツ協会と協議し、公益財団法人日本スポーツ協会において決定する。

[障スポ]

参加者の宿泊料金については、国スポの宿泊料金を基本とし、旅館等の関係団体と協議し、県が決定する。

4 食事の提供

参加者に提供する食事は、安全・安心で栄養バランスに配慮するとともに、温暖な気候、豊かな自然に恵まれた宮崎県ならではの多彩な食文化と新鮮な農林水産物を生かした郷土色豊かなものを提供する。

また、選手が十分に活躍できるよう食事の提供方針を作成するとともに、調理関係者等を対象に講習会を開催し、提供方針の普及に努める。

5 弁当の調達

[国スポ]

昼食弁当については、県及び会場地市町村が、必要に応じて調達斡旋を行う。

[障スポ]

昼食弁当については、県が、必要に応じて調達斡旋を行う。

6 その他

上記のほか、宿泊業務の実施に関して必要な事項については、別に定める。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 警備・消防・防災基本方針

1 趣旨

第81回国民スポーツ大会及び第26回全国障害者スポーツ大会（以下「両大会」という）における警備・消防・防災対策については、警察、消防、医療等の関係機関及び団体との緊密な連携のもとに、警備・消防・防災体制の確立を図り、安全かつ円滑な両大会の運営が行われるよう万全を期するものとする。

2 実施区分

(1) 警備対策

開・閉会式会場、競技会場、練習会場、宿泊施設及び沿道等（以下「会場等」という。）における事件・事故防止を重点とした適切な警備に関する諸対策を講じる。

また、両大会期間中には、関係機関及び団体の協力を得て、防犯対策を推進し、犯罪の防止に努める。

(2) 消防防災対策

会場等の火災その他の災害予防並びに災害発生時における情報収集・伝達、避難誘導、救急・救助等に関する諸対策を講じる。

また、大会期間中の火災その他の災害予防及び発生時の被害軽減を図るため、関係機関及び団体等の協力を得て、防火・防災意識の高揚を図る。

(3) 大規模災害・突発重大事案対策

会場等での大規模災害及び突発重大事案発生時における情報収集・伝達、避難誘導、救急・救助等に関する諸対策を講じる。

(4) 関係機関及び団体との連絡調整

県及び会場地市町村は、関係機関及び団体と緊密な連携を保つとともに、情報連絡体制を確立し、警備・消防・防災対策の円滑な推進を図る。

第81回国民スポーツ大会 正式競技 会場地市町村第10次選定

番号	競技（種目）		種別	市町村	開催予定施設
1	カヌー	スプリント	全種別	小林市	(仮称) 小野湖特設カヌー競技場
2	バスケットボール		少年男女	日向市	(仮称) 日向市総合体育館
				美郷町	美郷町北郷総合交流センター

【県外開催競技（種目）】

番号	競技（種目）		種別	市町村	開催予定施設
1	カヌー	スラローム、 ワイルドウォーター	全種別	県外	※今後調整

第81回国民スポーツ大会 正式競技 開催予定施設の変更

第81回国民スポーツ大会正式競技会場地市町村第2次選定(平成31年1月31日 第3回常任委員会決定)において選定したトライアスロン競技(全種別)、第4次選定(令和元年7月1日 第4回常任委員会決定)において選定したハンドボール競技(少年男子、少年女子)、サッカー競技(少年男子)及び第5次選定(令和2年2月17日 第5回常任委員会決定)において選定した水泳競技・オープンウォータースイミング(全種別)の開催予定施設を、次のとおり変更する。

番号	競技(種目)		種別	市町村	開催予定施設	
					変更前	変更後
1	トライアスロン		全種別	川南町 ↓ 宮崎市	<u>(仮称)川南漁港特設 トライアスロン会場</u>	<u>(仮称)みやざき臨海 公園特設会場</u>
2	ハンドボール		少年男女	宮崎市	宮崎市天ヶ城公園体育館 宮崎市佐土原体育館 宮崎市清武体育館	宮崎市総合体育館 宮崎市佐土原体育館 宮崎市清武体育館
3	サッカー		少年男子	新富町	<u>(仮称)新富町フット ボールセンター ユニリーバスタジアム新富 三納代コミュニティ広場</u>	新富町フット ボールセンター ユニリーバスタジアム新富 <u>(仮称)富田浜公園</u>
4	水泳	オープン ウォーター スイミング	全種別	延岡市	<u>(仮称)下阿蘇ビーチ 特設会場</u>	<u>(仮称)須美江海水浴場 特設会場</u>

第81回国民スポーツ大会 会場地市町村選定状況一覧【競技別】
【開・閉会式】

内 容	市町村	開催予定施設
総合開・閉会式	都城市	(仮称)新宮崎県陸上競技場

※荒天等により屋内で開催の場合「都城市総合文化ホール」

【正式競技】

番号	競技(種目)	種 別	市町村	開催予定施設	
1	陸上競技	全種別	都城市	(仮称)新宮崎県陸上競技場	
2	水泳	競泳	宮崎市	(仮称)新宮崎県プール	
		飛込	熊本県熊本市	熊本市総合屋内プール アクアドームくまもと	
		水球	宮崎市	(仮称)新宮崎県プール	
		アーティスティックスイミング	少年女子	宮崎市	(仮称)新宮崎県プール
		オープンウォータースイミング	全種別	延岡市	(仮称)須美江海水浴場特設会場
3	サッカー	成年男子	綾町	綾国際交流広場サッカー場 綾町自然休養村公園小田爪多目的競技場 綾てるはふれあい広場	
		少年女子	西都市	清水台総合公園多目的広場	
		少年男子	新富町	新富町フットボールセンター ユニリーバスタジアム新富 (仮称)富田浜公園	
4	テニス	全種別	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園庭球場	
5	ローイング	全種別	新富町	富田浜漕艇場	
6	ホッケー	全種別	都農町	都農町藤見公園	
7	ボクシング	全種別	えびの市	えびの市民体育館	
8	バレーボール	6人制	成年男子	日南市	日南市北郷体育館
			成年女子	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ
			少年男子	都城市	早水公園体育文化センター
			少年女子	小林市	(仮称)健幸のまちづくり拠点施設
		ビーチバレーボール	全種別	日向市	(仮称)お倉ヶ浜海岸特設会場
9	体操	競技	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ	
		新体操	全種別	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ
		トランポリン	全種別	小林市	(仮称)健幸のまちづくり拠点施設
10	バスケットボール	成年男子	都城市	早水公園体育文化センター	
		成年女子		早水公園体育文化センター 高城運動公園総合体育館 高崎総合公園総合体育館	
		少年男女	日向市	(仮称)日向市総合体育館	
			美郷町	美郷町北郷総合交流センター	
11	レスリング	全種別	日南市	日南総合運動公園多目的体育館	
12	セーリング	全種別	日南市	日南市大堂津ヨット競技場	
13	ウエイトリフティング	全種別	小林市	小林市文化会館	
14	ハンドボール	成年男女	綾町	綾てるはドーム	
		少年男女	宮崎市	宮崎市総合体育館 宮崎市佐土原体育館 宮崎市清武体育館	
15	自転車	トラック	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園自転車競技場	
		ロード	全種別	串間市	(仮称)串間市特設ロードレースコース
16	ソフトテニス	成年男女	都城市	(仮称)都城運動公園庭球場	
		少年男女	宮崎市	生目の杜運動公園テニスコート	
17	卓球	全種別	宮崎市	宮崎市総合体育館	
18	軟式野球	成年男子	延岡市	西階野球場	
			日向市	お倉ヶ浜総合公園野球場	
			高鍋町	高鍋総合運動公園MASUDAスタジアム	
			川南町	川南町運動公園野球場	
			門川町	門川海浜総合公園野球場	
			西都市	西都原運動公園野球場	

番号	競技(種目)	種別	市町村	開催予定施設		
19	相撲	全種別	五ヶ瀬町	五ヶ瀬町総合公園Gパーク五ヶ瀬ドーム		
20	馬術	全種別	綾町	綾馬事公苑		
21	フェンシング	全種別	国富町	アリーナくにとみ		
22	柔道	全種別	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ		
23	ソフトボール	成年男子	延岡市	西階野球場		
			門川町	門川海浜総合公園野球場		
		成年女子	宮崎市	宮崎市清武総合運動公園 SOKKENスタジアム・第2野球場		
		少年男子 少年女子	日向市	お倉ヶ浜総合公園 野球場・運動広場・第2多目的広場		
24	バドミントン	全種別	高鍋町	井上商店スポーツセンター高鍋町総合体育館		
25	弓道	近的	全種別	串間市	串間市民総合体育館	
		遠的			(仮称) 串間市総合運動公園特設競技場	
26	ライフル射撃	50m	全種別	宮崎市	宮崎県ライフル射撃競技場	
		10m・AP				全種別
		BR・BP				全種別
		CFP	成年男子	宮崎市	宮崎県警察学校射撃場	
27	剣道	全種別	高千穂町	高千穂町武道館		
28	ラグビーフットボール	7人制	成年男子	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた陸上競技場	
			女子			
		15人制	少年男子		ひなた宮崎県総合運動公園ラグビー場	
29	スポーツクライミング	リード	全種別	木城町	(仮称) 木城町体育館特設会場	
		ボルダリング			木城町体育館	
30	カヌー	スプリント	全種別	小林市	(仮称) 小野湖特設カヌー競技場	
		スラローム	全種別	県外	※ 今後調整	
		ワイルドウォーター	全種別			
31	アーチェリー	全種別	高原町	高原町総合運動公園多目的芝生広場		
32	空手道	全種別	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた武道館		
33	銃剣道	全種別	三股町	三股町武道体育館		
34	なぎなた	全種別	日之影町	日之影町立日之影中学校体育館		
35	ボウリング	全種別	宮崎市	宮崎エースレーン		
36	ゴルフ	成年男子	宮崎市	宮崎レイクサイドゴルフ倶楽部		
		女子		宮崎カントリークラブ		
		少年男子		ハイビスカスゴルフクラブ		
37	トライアスロン	全種別	宮崎市	(仮称) みやざき臨海公園特設会場		

【特別競技】

番号	競技	種別	会場地	競技会場
1	高等学校野球	硬式	日南市	天福公園野球場 日南総合運動公園野球場 南郷中央公園野球場
		軟式		

【公開競技】

番号	競技	種別	会場地	競技会場
1	綱引	全種別	日南市	日南総合運動公園多目的体育館
2	ゲートボール	全種別	都城市	都城運動公園陸上競技場
3	武術太極拳	全種別	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ
4	パワーリフティング	全種別	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ
5	グラウンド・ゴルフ	全種別	※今後調整	※ 今後調整
6	パウンドテニス	全種別	都城市	早水公園体育文化センター
7	エアロビック	全種別	木城町	木城町体育館

第81回国民スポーツ大会デモンストラーションスポーツ実施競技及び会場地市町村選定状況一覧

【実施競技】				
番号	競技	主管団体	市町村	開催予定施設
1	ラジオ体操	宮崎市	宮崎市	宮崎市内小学校及び公園等
2	少林寺拳法	宮崎県少林寺拳法連盟	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた武道館
3	BMX・スケートボード	宮崎ストリートスポーツ振興協会	宮崎市	宮崎県祇園スポーツパーク
4	ビリヤード	宮崎県ビリヤード協会	宮崎市	Billiards & Games POOL
5	パークゴルフ	宮崎県パークゴルフ協会	都城市	かかしの里パークゴルフ場 高崎パークゴルフ場
6	3B体操	公益社団法人日本3B体操協会宮崎県支部	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ
7	ウォーキング	延岡市スポーツ推進委員協議会	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ周辺
8	ターゲット・パードゴルフ	宮崎県ターゲット・パードゴルフ協会	日南市	日南市星倉地区運動広場
9	ソフトバレーボール	小林地区バレーボール協会	小林市	小林市市民体育館
10	サーフィン	日向市サーフィン連盟	日向市	お倉ヶ浜海水浴場
11	少年・少女レスリング	一般社団法人串間スポーツクラブ	串間市	串間市民総合体育館
12	ジュニアサッカー	一般社団法人串間スポーツクラブ	串間市	串間市総合運動公園 (串間市宮陸上競技場・串間市営運動広場)
13	少年サッカー	西都市スポーツランド推進協議会 Jリーグ等サッカー協力部会	西都市	清水台総合公園多目的広場
14	ウォーキング	えびの市総合型地域スポーツクラブ 連絡協議会	えびの市	えびの市文化の杜～木崎原古戦場跡
15	ノルディックウォーキング	三股町社会福祉協議会	三股町	元気の杜広場～町内各地区
16	健幸増進グラウンド・ゴルフ	高原町グラウンド・ゴルフ協会	高原町	高原町総合運動公園多目的芝生広場
17	スポーツウエルネス吹矢	宮崎県スポーツウエルネス吹矢協会	国富町	アリーナくにとみ
18	ミニテニス	宮崎県ミニテニス協会	綾町	綾てるはドーム
19	フレッシュグラウンド・ゴルフ	高鍋町グラウンド・ゴルフ協会	高鍋町	小丸河畔運動公園
20	ユニカール	宮崎県ユニカール協会	新富町	新富町体育館
21	ウォーキング	西米良村スポーツ協会	西米良村	西米良村中心部(屋外)
22	ミュージックレクリエーション	西都市レクリエーション協会	西米良村	西米良村トレーニング施設等
23	エンジョイ エアロビック	宮崎県エアロビック連盟	木城町	木城町体育館
24	enjoy T&F GP	特定非営利活動法人都農 enjoyスポーツクラブ	都農町	藤見公園陸上競技場
25	ラジオ体操	都農町スポーツ推進委員協議会	都農町	藤見公園陸上競技場
26	ラジオ体操	門川町PTA協議会	門川町	門川町内3小学校 (門川町立門川小学校・草川小学校・五十鈴小学校)
27	AJTAスポーツ玉入れ	AJTA九州 (全日本玉入れ協会九州協会)	諸塚村	諸塚村民体育館
28	トレッキング	椎葉村教育委員会	椎葉村	扇山登山道
29	キャッチング・ザ・スティック	宮崎県レクリエーション協会	美郷町	美郷町北郷総合交流センター
30	ポッチャ	宮崎県レクリエーション協会	美郷町	美郷町北郷総合交流センター
31	ラダーゲッター	宮崎県レクリエーション協会	美郷町	美郷町北郷総合交流センター
32	モルック	高千穂町教育委員会	高千穂町	国見ヶ丘 ※雨天時は高千穂町武道館
33	森林セラピーウォーキング	日之影町森林セラピー推進協議会	日之影町	TR鉄道跡地散策コース
34	フロアカーリング	五ヶ瀬町教育委員会	五ヶ瀬町	五ヶ瀬町総合公園Gパーク 五ヶ瀬ドーム

第26回全国障害者スポーツ大会 会場地市町村選定状況一覧【競技別】

【開・閉会式】

内 容	市町村	開催予定施設
開・閉会式	都城市	(仮称) 新宮崎県陸上競技場

※荒天等により屋内で開催の場合「都城市総合文化ホール」

【実施競技】

番号	競技(種目)	障がい種別	市町村	開催予定施設
1	陸上競技	身体・知的	都城市	(仮称) 新宮崎県陸上競技場
2	水泳	身体・知的	宮崎市	(仮称) 新宮崎県プール
3	アーチェリー	身体	高原町	高原町総合運動公園多目的芝生広場
4	卓球 (サウンドテーブルテニス含む)	身体・知的・精神	宮崎市	宮崎市総合体育館 宮崎市中央公民館
5	フライングディスク	身体・知的	宮崎市	ひなた宮崎県総合運動公園ひなた陸上競技場
6	ポッチャ	身体	都城市	早水公園体育文化センター
7	ボウリング	知的	宮崎市	宮崎エースレーン
8	バスケットボール	知的	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ
9	車いすバスケットボール	身体	延岡市	アスリートタウン延岡アリーナ
10	ソフトボール	知的	日向市	お倉ヶ浜総合公園
11	グラウンドソフトボール	身体	—	—
12	バレーボール	身体	都城市	早水公園体育文化センター
		知的	日南市	日南市北郷体育館
		精神	小林市	(仮称) 健幸のまちづくり拠点施設
13	サッカー	知的	新富町	新富町フットボールセンター ユニリーバスタジアム新富 三納代コミュニティ広場
14	フットソフトボール	知的	延岡市	西階公園

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 会場地市町村選定状況一覧【市町村別】

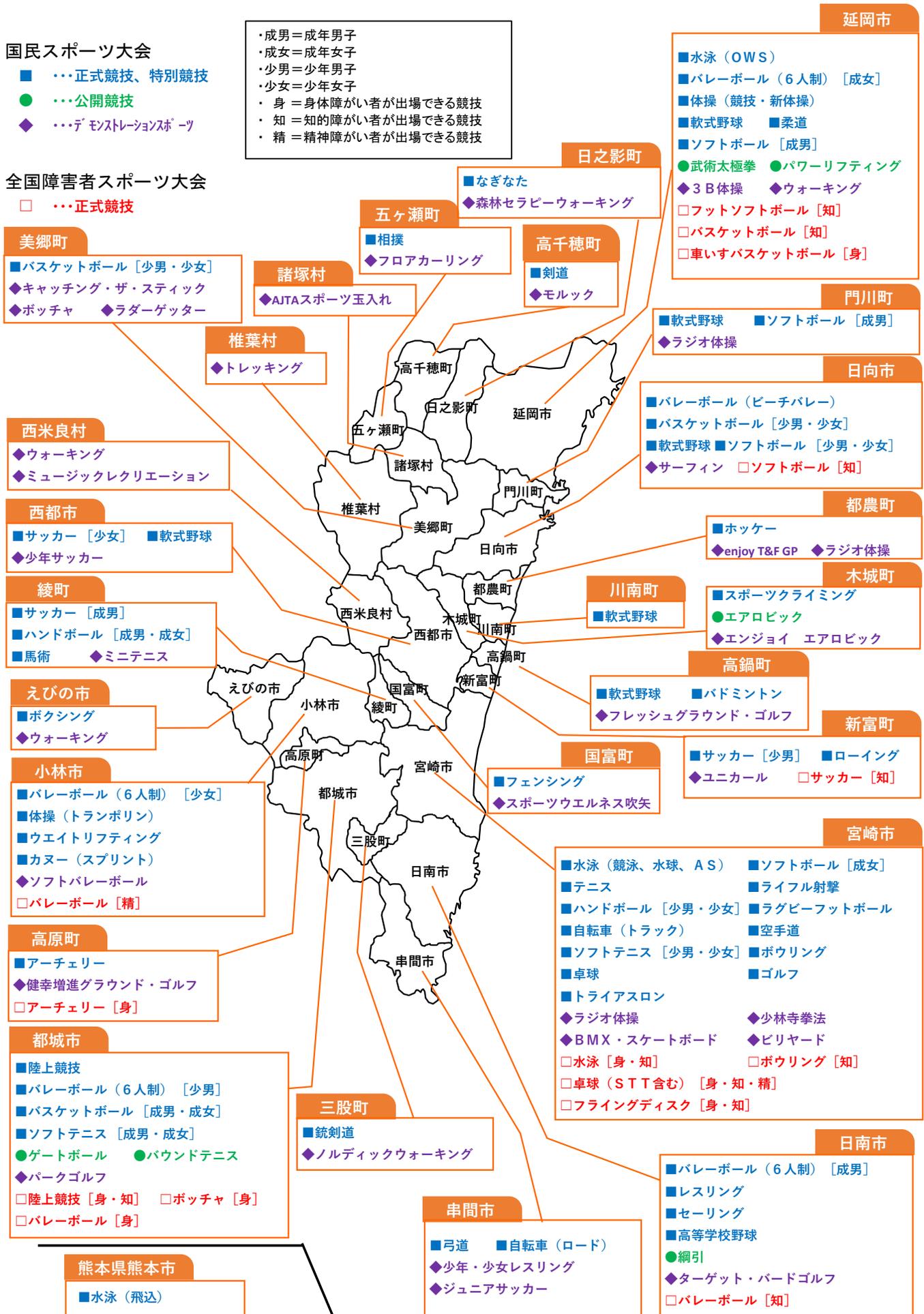
国民スポーツ大会

- …正式競技、特別競技
- …公開競技
- ◆ …デモンストレーションスポーツ

- ・成男=成年男子
- ・成女=成年女子
- ・少男=少年男子
- ・少女=少年女子
- ・身=身体障がい者が出場できる競技
- ・知=知的障がい者が出場できる競技
- ・精=精神障がい者が出場できる競技

全国障害者スポーツ大会

- …正式競技



第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 文化プログラム実施基本計画

「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会文化プログラム実施基本方針」に基づき、関係団体や県・市町村等が連携し、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会文化プログラム（以下「文化プログラム」という。）を推進する。

1 取組の方向性及び目的

- (1) 文化プログラムを通じた第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）への関心の向上
文化プログラムを通じて、スポーツへの関心が低い人にも大会を認知してもらい、観戦やボランティアなど様々な形での大会参加を促進し、県民総参加型の大会を目指す。
- (2) 大会を契機とした本県の多彩な魅力の発信
文化プログラムの推進を通じて、芸術や地域において継承されてきた伝統文化等の魅力を幅広く発信し、地域の活性化につなげる。

2 具体的な取組

- (1) スポーツに関する文化・芸術事業の展開
特定非営利活動法人日本スポーツ芸術協会をはじめとする関係団体と連携し、スポーツに関する文化・芸術事業を実施する。
- (2) 本県の文化・芸術等を発信する事業の展開
県や市町村等の主催による事業や文化施設等と連携した事業を実施する。
- (3) その他文化プログラムの目的に沿うと認められる事業の展開
前2号のほか、文化プログラムの目的に沿う事業に関する情報を幅広く発信する。

3 効果的な情報発信

- (1) 多様なメディアによる情報発信
 - ・新聞、テレビ、ラジオ等による情報発信
 - ・県及び市町村の広報媒体の活用
 - ・ホームページやSNS等の活用
- (2) イベント等の機会を活用した情報発信
 - ・大会啓発イベント等の機会の活用
 - ・県民運動及び各種団体・企業等のイベントとの連携
- (3) 文化プログラムパンフレット等の作成
 - ・県内外の選手、関係者等への配布

【参考】今後のスケジュール

年度	令和5年 (開催4年前)	令和6年 (開催3年前)	令和7年 (開催2年前)	令和8年 (開催1年前)	令和9年 (開催年)
内容	基本計画策定	実施要項策定 県庁各課、市町村、関係団体への説明協力依頼	主催事業の検討 募集ポスター・チラシ作成 【募集】	事業決定 選定→日本スポーツ協会への申請→承認 パンフレット等作成・配布	【大会開催】 主催事業実施 【文化プログラム終了】

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 文化プログラム実施基本方針

1 目 的

多くの県民が文化・芸術活動を通して第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）に参加することで、開催機運を盛り上げるとともに、県民総参加型の大会を目指す。

あわせて、神話や伝統文化、豊かな自然や食、充実したスポーツ環境等、本県の多彩な魅力を全国に向けて発信する。

2 内 容

文化プログラムの内容は、次のいずれかに該当し、県が認めたものとする。

- (1) スポーツに関する文化・芸術事業
- (2) 本県の文化・芸術等を発信する事業
- (3) その他文化プログラムの目的に沿うと認められる事業

3 実 施 者

文化プログラムの事業を実施できるものは、次のとおりとする（宗教団体、政治団体は除く）。

- (1) 公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、県、市町村及び特定非営利活動法人日本スポーツ芸術協会
- (2) 公益法人又はこれに準ずる団体
- (3) 通信、新聞、テレビ、ラジオなどの報道機関
- (4) その他、県が上記各号に準ずると認めるもの。

4 期 間

文化プログラムの実施期間は、原則として、大会開催年の1月1日から12月31日までとする。

5 開 催 地

文化プログラムは原則として県内で実施する。

6 経 費 負 担

文化プログラムの実施に係る経費は、3に定める各事業の実施者が負担する。



燃ゆる感動かごしま国体・大会 警備・消防・防災業務

かごしま国体について



(1) 開催期間

- 会期前実施競技 令和5年9月16日(土)～24日(日)
- 本大会 令和5年10月7日(土)～17日(火)

(2) 総合開・閉会式会場

- 場所 白波スタジアム(鹿児島県鹿児島市)
- 日程 開会式 10月7日(土)
- 閉会式 10月17日(日)

総合開・閉会式会場（白波スタジアム）



警備・消防・防災に関する業務内容



(1) 自主警備業務

- 事前警戒・警備 ○雑踏警備の実施
- 入退場者管理（IDカード確認、手荷物検査、持ち込み禁止物一時預かり等）
- 関係車両の案内、誘導、交通整理及び駐車場利用状況の把握
- 不審者、不審物の発見と適切な対応
- 迷子、遺失物等への対応 ○事件・事故発生時の通報連絡、初期対応

(2) 消防・防災業務

- 火災の警戒及び初期消火活動 ○火災その他災害情報の収集、伝達及び通報
- 消防ポンプ自動車、救急自動車の配備 ○消防用設備の点検
- 災害発生時における避難経路の確保

(3) 大規模災害・突発重大事案対策業務

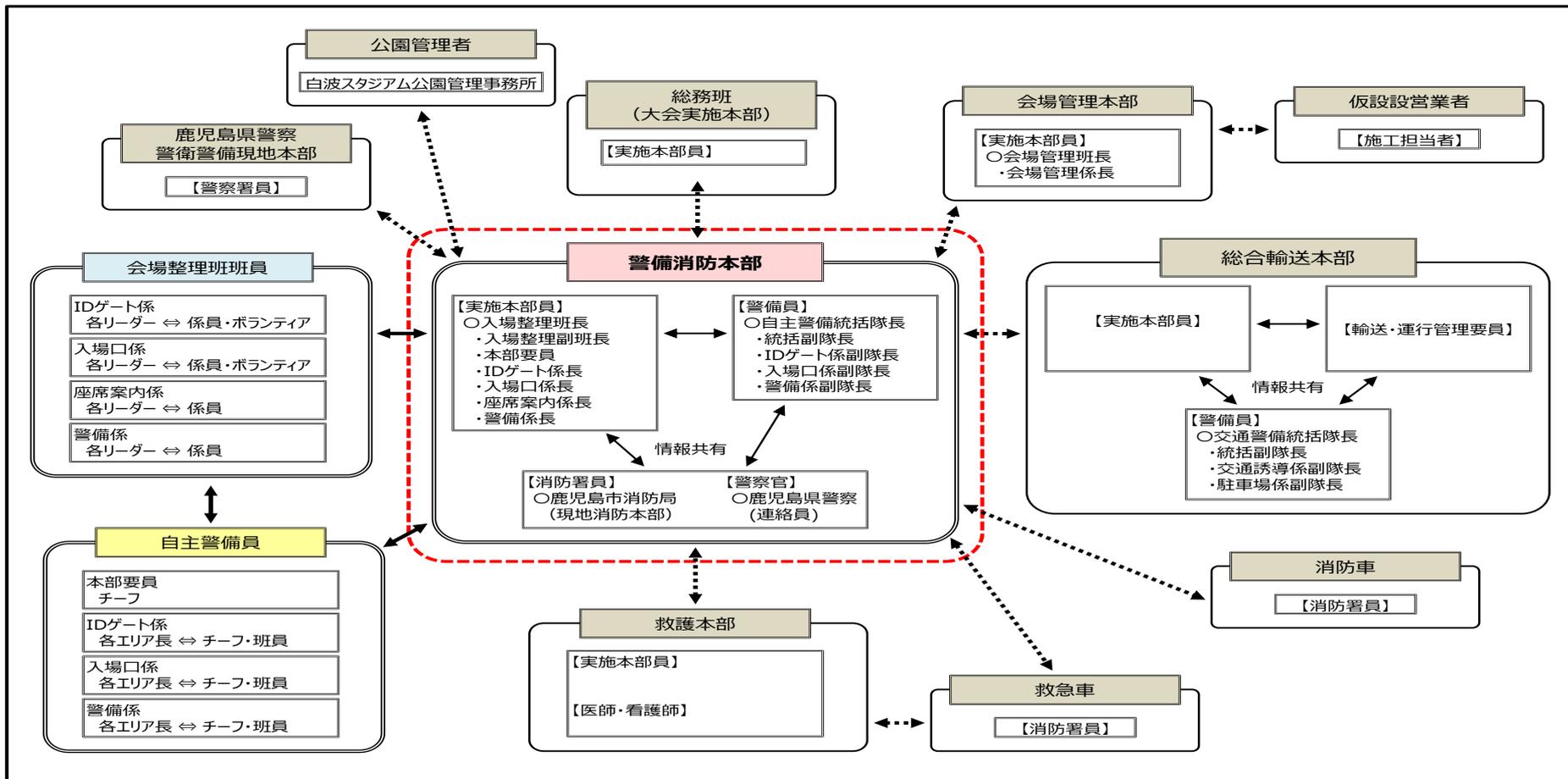
- 発生に備えた組織体制の確立 ○発生時の緊急車両の誘導及び通行路の確保
- 大会参加者の安全確保及び避難誘導
- 救急・救助及び医療機関等の協力による救急搬送の実施

警備・消防・防災に関する業務内容



実施体制 警備・消防・防災本部を設置

組織図



警備・消防・防災に関する業務内容



実施体制 警備・消防・防災本部を設置

○警備・消防・防災本部の役割

① 「IDゲート係」「入場口係」「座席案内係」「警備係」の4系業務体制

「IDゲート係」・・・ID確認所における本人確認

「入場口係」・・・入場口における手荷物検査

「座席案内係」・・・来場者の座席案内

「警備係」・・・会場内の警戒業務

② 警備・消防業務全般の統括

無線機を使用しての現場リーダー、スタッフに対して指示を行うほか、総合輸送本部や救護本部等との連絡調整にあたる。また火災等の非常事態が発生した場合には、中心となって情報収集・避難誘導を行う。

警備・消防・防災に関する業務内容



実施体制 警備・消防・防災本部を設置

設置場所：白波スタジアム近辺



自主警備業務実施状況



【入退場者管理（会場案内図）】



自主警備業務実施状況



【入退場者管理（IDゲート）】

～IDゲート入場手順～

- ①IDカード（入場券）と身分証明書による本人確認（QRコードを読み取り、本人照合実施）
- ②簡易手荷物検査
- ③確認済みを示すリストバンドの配布



自主警備業務実施状況



【入退場者管理（入場口）】



～入場口入場手順～

- ①IDカード及びリストバンド装着の確認
- ②手荷物検査
- ③金属探知機による身体検査
- ④持ち込み禁止物の対応

自主警備業務実施状況



【入退場者管理（入場口）】



入場口での手荷物検査で持ち込み禁止物を発見



「ビン・カン詰替え所・預かり所」にて預かる

○飲料が入っている場合
ビン・缶・ペットボトルの飲料を
用意された紙コップに移し替え、会場内持ち込み
(※ビン・缶・ペットボトルは持ち込み禁止のため)

持ち込み禁止物の代表例

- | | | |
|-------------------------|-------------------------------------|-----------|
| 酒類 | ペットボトル
(容量・形状を問わず禁止) | ビン類・カン類 |
| ドローン | 包丁、ナイフ、
ハサミ等の刃物類 | ホイッスル、拡声器 |
| ボール類、ブーメラン、
その他投てき遊具 | ベビーカー、旅行用カバン
(開・閉会式会場内には持ち込みません) | |

配布チラシ
(一部抜粋)

自主警備業務実施状況



【会場内警備】

不審物や不審者等に備え、警察官が各座席ブロックごとに配置され見張りを実施。
また、入場ゲート付近では座席案内を行い、入場者の各座席までの案内・誘導を実施。

開・閉会式会場警備（警察官）



座席案内係



自主警備業務実施状況



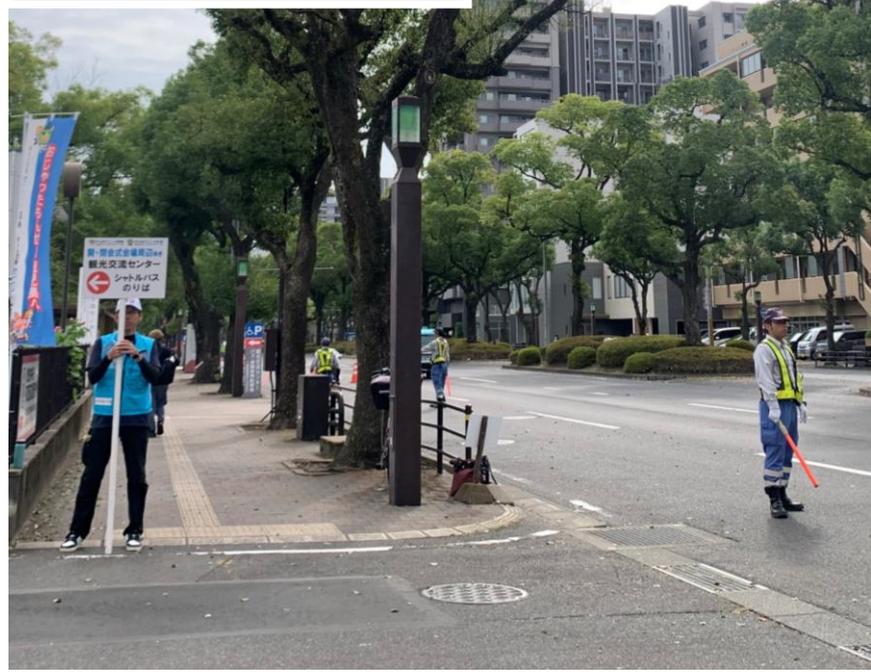
【交通整理誘導】

会場周辺道路における交通渋滞及び交通事故対策、会場近辺の交差点等における歩行者の安全確保等交通事故の防止に関する業務を実施。

会場近辺横断歩道



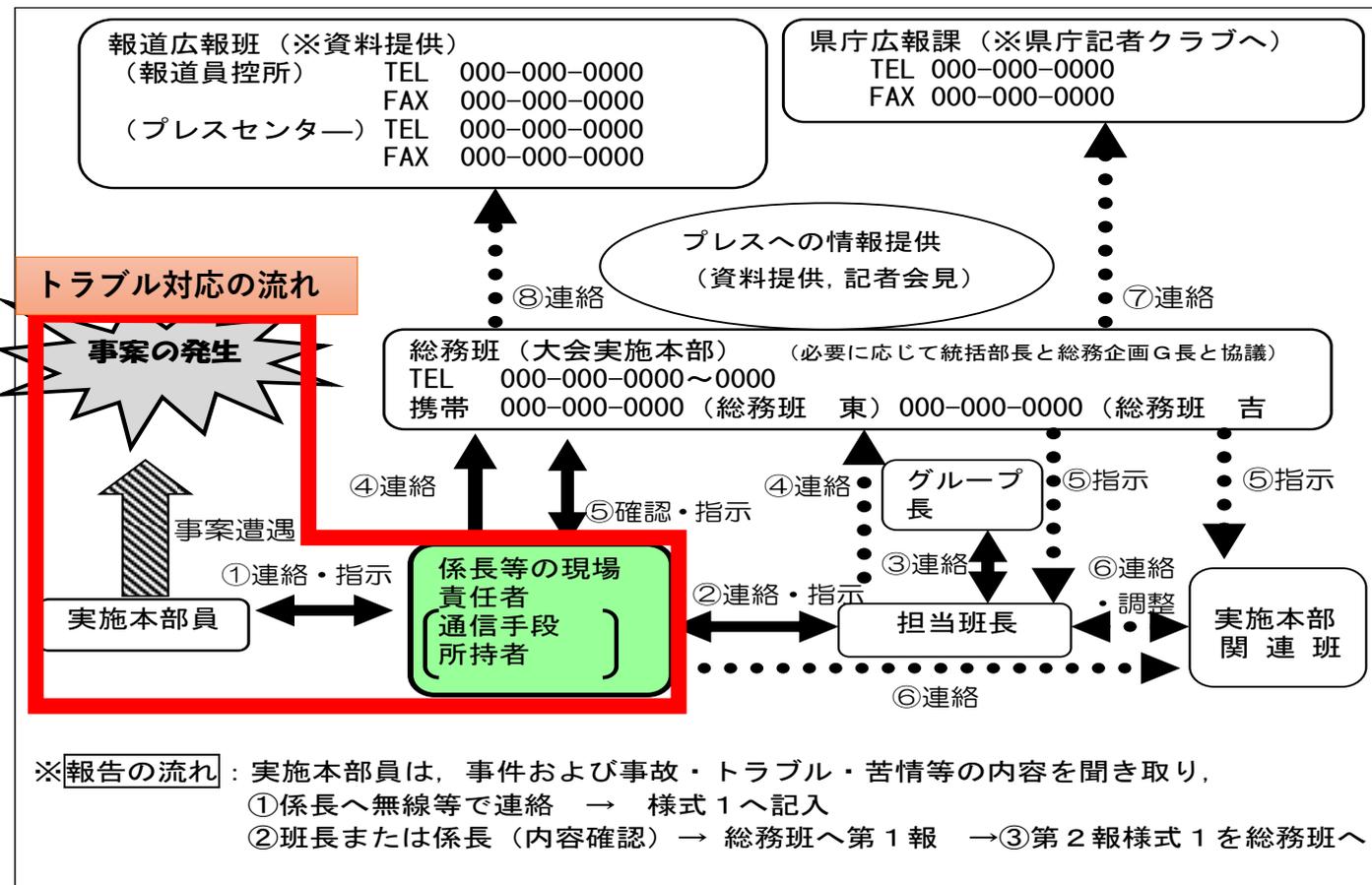
シャトルバス乗り場付近



自主警備業務実施状況



【トラブル発生時の連絡体制・初動対応等】



事故報告書

様式 1

事故等報告書	
発生日時	令和2年 月 日 時 分
発生場所	区 町 丁目 番 号
連絡先	氏名 電話番号
連絡方法	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> 口頭 <input type="checkbox"/> その他
連絡結果	<input type="checkbox"/> 連絡済 <input type="checkbox"/> 未連絡
事故内容	<input type="checkbox"/> 人身被害 <input type="checkbox"/> 交通事故 <input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 物品被害 <input type="checkbox"/> 設備被害 <input type="checkbox"/> その他
対応結果	<input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 未対応
備考	

※報告の流れ: 実施本部員は、事件および事故・トラブル・苦情等の内容を聞き取り、
 ①係長へ無線等で連絡 → 様式1へ記入
 ②班長または係長(内容確認) → 総務班へ第1報 → ③第2報様式1を総務班へ

消防・防災業務実施状況



【緊急車両（消防車、救急車）の配備】

有事に備えて、緊急車両を複数台配備。警備・消防・防災本部には消防職員が待機、救護本部には救急隊員が配置された。

配置場所：警備・消防・防災本部すぐ側



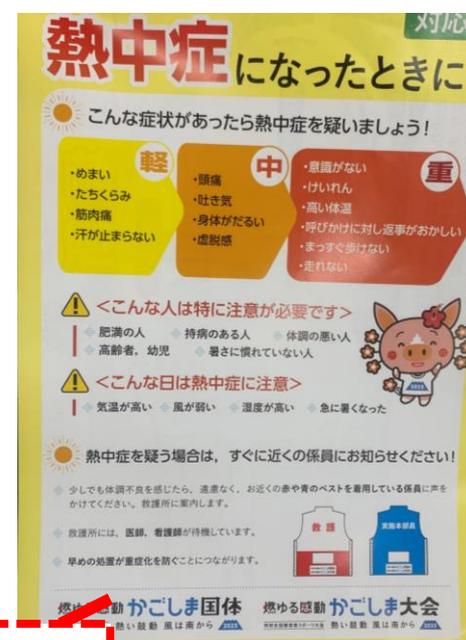
大規模災害・突発重大事案対策業務実施状況



大規模災害・突発重大事案の発生に備え、情報収集、大会参加者の安全確保及び避難誘導體制の確立等の対策を実施。



来場者全員に配布された案内チラシ



裏面

大規模災害・突発重大事案対策業務実施状況



大規模災害・突発重大事案の発生に備え、情報収集、大会参加者の安全確保及び避難誘導體制の確立等の対策を実施。

4-01. 避難計画

9. 火山災害発生時（桜島爆発災害）

(1) 避難誘導の基準

大会実施本部は、桜島火山の噴火警戒レベルが4または5に達した時、関係機関と協議し、式典、競技、入場等の中断および来場者の避難誘導を検討する。
※白波スタジアムは桜島火山噴火時の避難対象地域外も、降灰の影響を考慮。

桜島の噴火警戒レベル	
レベル5（避難）	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。
レベル4（避難準備）	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される。（可能性が高まっている）
レベル3（入山規制）	居住地域に重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。
レベル2（火山周辺規制）	火山周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。
レベル1（活火山であることに留意）	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等がみられる。（この範囲に入った場合には生命の危険が及ぶ）

避難計画にて、独自に桜島爆発災害に備えた避難体制を確立させた

(2) 避難要領

- ① 避難については、帰宅を基本とする。
- ② 帰宅に際しての交通手段は、輸送計画の通りを基本とする。

交通手段	避難要領（手段）	
	第1段階	第2段階
自家用車・タクシー利用者	自家用車・タクシーにより帰宅	（※避難区域内の住民は避難計画に基づき行動）
徒歩・自転車等	徒歩・自転車により帰宅	（※避難区域内の住民は避難計画に基づき行動）
計画バス利用者	指定集合地・指定乗降地・宿泊地までバス輸送	自家用車・公共交通機関等により帰宅
シャトルバス利用者	駅・駐車場までバス輸送	自家用車・公共交通機関等により帰宅



※参考：鹿児島市地域防災計画（原子力災害対策編）

各競技会場業務実施状況



【各競技会場にて】

総合開・閉会式会場のみならず、各競技会場においても警備・消防・防災業務を実施。

警察・消防本部設置（カヌー）



見張りの様子（セーリング）



各競技会場業務実施状況



【各競技会場にて】

総合開・閉会式会場のみならず、各競技会場においても警備・消防・防災業務を実施。

救急車両配備（トリアスロン）



救護所のすぐ側に救急車両を配備



その他



総合開会式前日にブルーインパルス（Blue Impulse）の飛行練習が行われたため、会場周辺に多くの人々が集まっていた。周辺道路には、路上駐車をしている車が沢山見受けられた。

会場周辺の様子（飛行前）



路上駐車の様子



第81回国民スポーツ大会・ 第26回全国障害者スポーツ大会

式典基本構想



つむぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会

2027

第26回全国障害者スポーツ大会

令和5年2月1日

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会

宮 崎 県 準 備 委 員 会

目 次

式典基本構想策定にあたって	1
1 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要	2～3
2 式典の概要	4
(1) 式典テーマ	
(2) 式典の基本的な考え方	
3 総合開会式・開会式の概要	5～6
(1) 基本的な考え方（両大会共通）	
(2) 構成及び次第	
4 総合閉会式・閉会式の概要	6～7
(1) 基本的な考え方（両大会共通）	
(2) 構成及び次第	
5 各競技会の表彰式	8
(1) 基本的な考え方	
(2) 実施方法等	
6 炬火イベント	8
(1) 基本的な考え方	
(2) 展開イメージ	
7 式典業務に係る今後のスケジュール	9
参考資料	11～19

式典基本構想策定にあたって

国民体育大会（令和6年（2024年）から「国民スポーツ大会」に名称変更）は、昭和21年（1946年）の第1回大会以来、国内最大のスポーツの祭典として広く親しまれ、国民の健康増進と体力向上、地方スポーツの推進と地方文化の発展等に寄与してきました。

宮崎県では、昭和54年（1979年）に「伸びる心 伸びる力 伸びる郷土」をスローガンとして、第34回国民体育大会「日本のふるさと宮崎国体」を開催し、本県選手団の活躍や県民総参加で大会を支えた誇りと自信は、明るく豊かな宮崎を築く原動力となり、本県のスポーツ振興はもとより、その後の県勢発展に大きく貢献しました。また、同年には、「ふれあう心 あふれる力 のびゆく郷土」をスローガンに、第15回全国身体障害者スポーツ大会を開催し、障がい者が力強く競技する姿が多くの県民に大きな感動を与えました。

そして、前回開催から48年ぶりとなる令和9年（2027年）に、第81回国民スポーツ大会と第26回全国障害者スポーツ大会（前身の「全国身体障害者スポーツ大会」を含む。）を「紡ぐ感動 神話となれ」のスローガンのもと、「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」として宮崎県で開催します。

特に、総合開・閉会式をはじめとする両大会の式典は、全国から多くの役員・選手団が集う中で、宮崎のあらゆる魅力を全国に発信できる絶好の機会であることから、県民総参加のもと、“おもてなしの心”で温かく迎えるとともに、参加したすべての人が心の絆を深める場にしたいと考えています。

そこで、こうした考え方を具現化し、式典全体の共通指針として基本的な方向等を明らかにするため、この「式典基本構想」を策定します。



昭和54年 日本のふるさと宮崎国体 秋季大会 開会式（宮崎県総合運動公園陸上競技場）

1 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要

◆大会名・開催時期・実施競技◆

第81回国民スポーツ大会

開催時期：令和9年（2027年）9月中旬から10月中旬の11日間

実施競技：正式競技 37競技

特別競技 1競技

公開競技 7競技

デモンストレーションスポーツ 23競技（令和4年2月現在）

第26回全国障害者スポーツ大会

開催時期：令和9年（2027年）国民スポーツ大会後の3日間

実施競技：正式競技 14競技

オープン競技 未定

◆愛称・規定書体◆

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

【趣旨】

宮崎県の温暖な気候、温かい県民性を「ひなた」と表現し、大会に参加する選手たちの「ひなた」のような輝きによって、全国に元気・勇気・感動を広げる大会を目指します。

【規定書体意図】

神話の国・宮崎というテーマのもと、赤は降り注ぐ太陽、緑は自然豊かな山々、青は日向灘を表現しています。

「日本のひなた宮崎」は、一本の紐で描かれた形で表現し、日本古来の“和”をイメージしており、「国スポ・障スポ」は、スポーツの爽やかさの中に神話を思われる勾玉を交えて構成しています。

◆スローガン◆

紡ぐ感動 神話となれ

【趣旨】

大会を通して生まれる絆や感動が、「神話」のように語り継がれる大会になってほしいとの思いが込められています。

◆マスコットキャラクター◆



「ひい」くん 「むう」ちゃん 「かあ」くん
みやざき犬

【みやざき犬について】

「みやざき犬」は、宮崎県のシンボルキャラクターとして、平成23年に公募により誕生しました。

宮崎県の特産品やゆかりのかぶりもの（日向夏・フェニックス・地鶏）をかぶって宮崎をPRし、広く県民に親しまれています。

大会マスコットキャラクターとして、開催年である「2027」をデザインしたランニングシャツを着用し、大会を象徴する炬火を掲げて、宮崎県における大会開催を県内外に広く情報発信しています。



昭和54年 日本のふるさと宮崎国体 秋季大会 開会式（宮崎県総合運動公園陸上競技場）

2 式典の概要

式典は、両大会の開・閉会式、各競技会の表彰式、炬火イベントで構成します。

「国民体育大会開催基準要項」、「全国障害者スポーツ大会開催基準要綱」、「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本構想」及び「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会式典基本方針」に定められた内容を踏まえ、国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会の融合を図り、「紡ぐ感動 神話となれ」のスローガンのもと、「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」にふさわしい式典を目指します。

(1) 式典テーマ

紡ぐ感動 神話となれ



(2) 式典の基本的な考え方

① 「チームみやざき」の一員である県民が様々な形で参加し、元気・勇気・感動を共有できる式典とする。

- ・ 「チームみやざき」の一員である県民がそれぞれの立場で関わり、創り上げる式典を目指します。
- ・ 両大会を通じて生まれた元気・勇気・感動を参加者全員で共有できる式典を目指します。

② 宮崎の魅力を全国に発信し、来県者をおもてなしの心で温かく迎えるとともに、参加者の記憶に残る式典とする。

- ・ 企画や演出によって式典テーマを具現化し、宮崎ならではの魅力を広く全国に発信する式典を目指します。
- ・ 県民がおもてなしの心をもって来県者を迎え、参加するすべての人の記憶に残る式典を目指します。

③ アスリートファーストの視点に立ち、簡素化を図りながらも創意工夫を凝らした式典とする。

- ・ 参加する選手の負担軽減を考慮し、アスリートファーストの視点に立った式典を目指します。
- ・ 簡素化を図りながらも創意工夫を凝らし、宮崎らしさを生かした式典を目指します。

3 総合開会式・開会式の概要

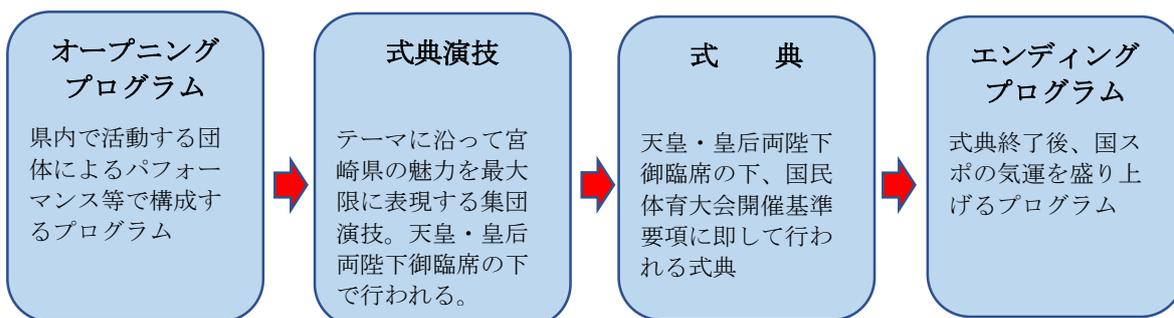
(1) 基本的な考え方（兩大会共通）

- ・ 様々な形で参加した県民から、選手や参加者へエールを送り、元気・勇気・感動を共有できる内容とします。
- ・ 宮崎の魅力を表現し、来県者をおもてなしの心で温かく迎えるとともに、参加者の記憶に残る内容とします。
- ・ アスリートファーストの視点から、参加する選手の負担軽減を第一に考え、式典時間の短縮や演出方法等を検討し、簡素化を図りながらも創意工夫を凝らした内容とします。

(2) 構成及び次第

① 日本のひなた宮崎国スポ 総合開会式

- ・ 総合開会式は、オープニングプログラム、式典演技、式典、エンディングプログラムで構成します。
- ・ 次第の順序、記述については、今後の計画により変更する場合があります。



- ・ 次第（総合開会式における式典の流れ）

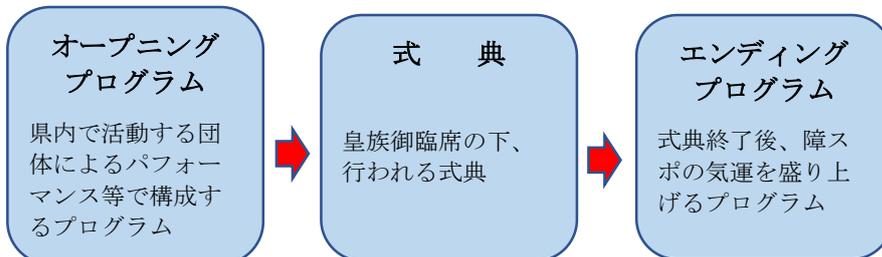
1	開式通告
2	役員・選手団入場
3	開会宣言（宮崎県知事）
4	国旗掲揚
5	大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚
6	宮崎県旗・参加都道府県旗・会場地旗掲揚
7	天皇杯・皇后杯返還
8	大会会長あいさつ
9	文部科学大臣あいさつ
10	天皇陛下お言葉
11	炬火入場・点火
12	選手代表宣誓
13	閉式通告



※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に決定します。

② 日本のひなた宮崎障スポ 開会式

- ・ 開会式は、オープニングプログラム、式典、エンディングプログラムで構成します。
- ・ 次第の順序、記述については、今後の計画により変更する場合があります。



- ・ 次第（開会式における式典の流れ）

1 開式通告	7 皇族お言葉
2 役員・選手団入場	8 炬火入場・点火
3 開会宣言・大会会長あいさつ	9 選手代表宣誓
4 国旗掲揚	10 歓迎演技
5 大会旗・宮崎県旗掲揚	11 閉式通告
6 文部科学大臣あいさつ	

4 総合閉会式・閉会式の概要

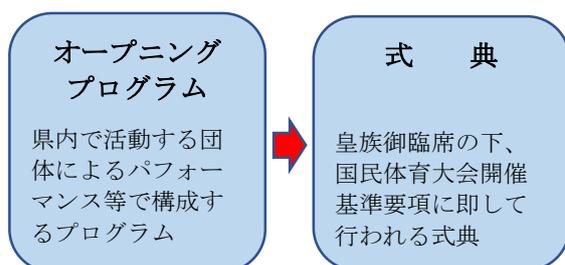
(1) 基本的な考え方（両大会共通）

- ・ 元気・勇気・感動を与えてくれた選手の健闘を称えるとともに、大会を支えてくれたすべての人に感謝の気持ちを表現した内容とします。
- ・ 国スポ・障スポを通じて生まれた交流の輪を大切に、さらに深める内容とします。
- ・ 次期開催の第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会へつなげる内容とします。

(2) 構成及び次第

① 日本のひなた宮崎国スポ 総合閉会式

- ・ 総合閉会式は、オープニングプログラムと式典で構成します。
- ・ 次第の順序、記述については、今後の計画により変更する場合があります。



・ 次第（総合閉会式における式典の流れ）

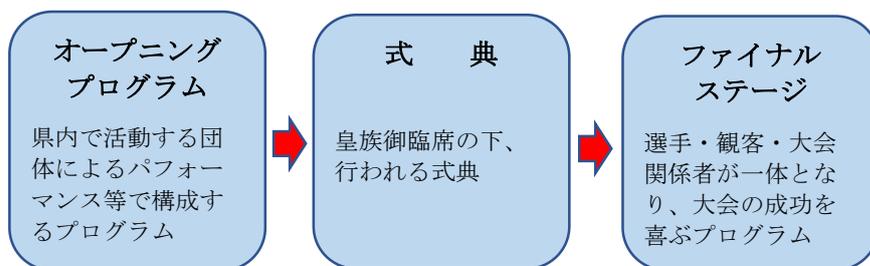
- 1 開式通告
- 2 役員・選手団入場
- 3 成績発表
- 4 表彰状授与
- 5 天皇杯・皇后杯授与
- 6 大会会長あいさつ
- 7 スポーツ庁長官あいさつ
- 8 宮崎県旗・参加都道府県旗・会場地旗降納
- 9 大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納
- 10 国旗降納
- 11 炬火分火・納火
- 12 国スポ旗引継
- 13 長野県旗掲揚
- 14 閉会宣言（宮崎県知事）
- 15 閉式通告



※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に決定します。

② 日本のひなた宮崎障スポ 閉会式

- ・ 閉会式は、オープニングプログラム、式典、ファイナルステージで構成します。
- ・ 次第の順序、記述については、今後の計画により変更する場合があります。



・ 次第（閉会式における式典の流れ）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 開式通告 | 6 国旗降納 |
| 2 大会会長あいさつ | 7 大会旗引継 |
| 3 スポーツ庁長官あいさつ | 8 炬火納火 |
| 4 皇族お言葉 | 9 閉会宣言（宮崎県知事） |
| 5 大会旗・宮崎県旗降納 | 10 閉式通告 |

5 各競技会の表彰式

(1) 基本的な考え方

- ・ 元気・勇気・感動を与えてくれた選手たちの健闘を称える内容とします。
- ・ 宮崎らしさや各市町村の特色を生かした内容とします。

(2) 実施方法等

- ・ 各競技会の表彰式は、会場地市町村が競技団体と協議の上、実施します。

【国民体育大会開催基準要項細則】(抜粋)

9 本則第20項第5号(各競技会表彰式の要領)

各競技会の表彰式は、できるだけ簡素なものとし、概ね次のとおりとする。

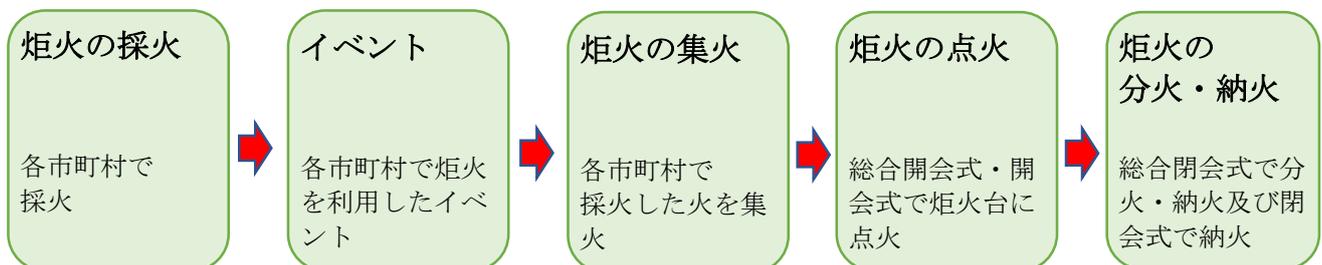
- ・ 成績発表
- ・ 表彰状授与
- ・ 大会会長トロフィー授与
- ・ 競技会会長閉会のあいさつ
- ・ 会場地代表歓送のことば
- ・ 国旗降納
- ・ 大会旗、実施競技団体旗、会場地市町村旗降納

6 炬火イベント

(1) 基本的な考え方

- ・ 「チームみやざき」の一員である県民の誰もが参加しやすいものとし、国スポ・障スポ開催に向けた気運を高める内容とします。
- ・ 各市町村の特色を生かし、創意工夫を凝らした宮崎の魅力があふれる内容とします。

(2) 展開イメージ



いきいき茨城ゆめ国体 採火式・集火式の様子

7 式典業務に係る今後のスケジュール

年度 逆年	令和3(2021) 6年前	令和4(2022) 5年前	令和5(2023) 4年前	令和6(2024) 3年前	令和7(2025) 2年前	令和8(2026) 1年前	令和9(2027) 開催年
全体計画	式典基本方針	式典基本構想	式典基本計画	式典実施計画	式典実施要項	式典運営業務	
式典運営全般	式典の基本理念	式典のテーマイメージ、方向性	式典のテーマイメージ、方向性	実施本部体制構築 全体スケジュール、式次第決定 式次第協議(JSPO)	総合練習会計画検討、策定	式典運営	
競技会表彰式	開・閉会式の構成	基本的な考え方 式次第検討	基本的な考え方 式次第検討	選手団募集範囲検討	選手団募集範囲決定 役員・選手団入退場計画		
炬火イベント	式典の企画・運営	基本的な考え方	基本的な考え方 競技会表彰式基準要項	動線計画 荒天時計画 放送・音響計画	アナウンサー選定 音響機器・映像システム整備計画 放送業務要領		
OP EP		基本的な考え方	基本的な考え方 競技会表彰式基準要項	表彰式計画 市町村との連絡調整	(リハーサル大会実施)		
式典音楽		基本的な考え方	基本的な考え方 炬火イベント基本方針 採火・集火方法検討 炬火用具デザイン検討(公募の有無等)	採火方法検討 点火・分火・納火の演出検討 炬火用具デザイン決定	炬火演出決定 炬火走者決定 炬火用具制作・整備	炬火台整備 炬火イベント実施	
式典演技			基本的な考え方 音楽隊編成の構想 使用曲の構想 作・編曲者選定 入場行進曲の構成 作・編曲者依頼	構成内容・映像プログラム検討 出演者選定計画 使用楽曲制作 演奏形態検討 出演者選定計画検討 試奏会の要項 服飾デザイン検討 楽器保有状況調査	出演団体の募集・決定 映像制作、総合練習会計画 出演者決定 式典使用曲決定 使用曲CD及び楽譜の制作 練習会計画検討 服飾整備検討 楽器整備計画	合同練習会	
委員会開催予定回数	1回	1回	1回	2回	2回	2回	1回
開催県	三重県(中止)	栃木県	鹿児島県	佐賀県	滋賀県	青森県	宮崎県

日本のひなた宮崎国スポ・障スポ 本大会開催 式典総合練習会・リハーサル

參考資料

国民体育大会開催基準要項(式典関係抜粋)

(令和4年6月7日改定 公益財団法人日本スポーツ協会)

20 大会の式典

【本大会】

- (1) 大会の式典を行う場合は、冬季大会を含め回数を同じくする大会の総合開・閉会式として、開催県実行委員会が選定した競技会場地で行う。ただし、本大会を複数の都道府県において開催する場合は、別に協議する。
- (2) 式典の所要時間は、原則として60分以内とする。
- (3) 式典は、できるだけ簡素なものとして、次の項目を必ず式典中に取り入れるものとする。ただし、その他の項目については、開催県実行委員会において企画の上、日本スポーツ協会と協議して定める。

総合開会式 開会宣言
国旗掲揚
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚
開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗掲揚
天皇杯・皇后杯返還
大会会長あいさつ
文部科学大臣あいさつ
天皇陛下お言葉
炬火点火
選手代表宣誓

総合閉会式 成績発表
表彰状授与
天皇杯・皇后杯授与
大会会長あいさつ
スポーツ庁長官あいさつ
開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗降納
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納
国旗降納
炬火納火
国体旗引継 (第78回大会以降は、「国スポ旗引継」)
次期開催県旗掲揚
閉会宣言

- (4) 総合開・閉会式時に集団演技を実施することができる。
- (5) 競技会終了後の表彰式は細則第8項により実施することができる。

2 1 国体旗引継ぎ及び保管

- (1) 国体旗は、総合閉会式時に本大会開催県代表者から次回本大会開催県代表者に引き継がれる。
- (2) 前号の方法は、大会ごとの事情に応じて行う。
- (3) 本大会の開催期間を除き、国体旗の保管は、日本スポーツ協会が行う。
- (4) 第 78 回大会以降は、「国体旗」を「国スポ旗」という。

2 2 大会旗及び炬火リレー

- (1) 大会旗及び炬火リレーは、開催県内に限り実施することができる。
- (2) リレーの方法については、開催県実行委員会が企画し、実施する。

全国障害者スポーツ大会開催基準要綱(式典関係抜粋)

(令和4年4月1日改正 公益財団法人日本パラスポーツ協会)

5. 大会開催の基本方針

- (1) 大会は、毎年1回開催し、各都道府県の持ち回りとする。
- (2) 大会は、毎年実施される国民体育大会本大会の直後を原則として、当該都道府県において3日間で開催する。
- (3) 大会会期は、国民体育大会本大会の開催決定にあわせて、開催3年前までに開催地主催者が中央主催者と協議して決定する。
- (4) 競技別会期は、開催2年前の年度末までに開催地主催者が中央主催者と協議して決定する。
- (5) 大会における競技運営は、公益財団法人日本スポーツ協会に加盟する開催地都道府県の関係競技団体及びJPSA登録競技団体等が主管する。
- (6) 大会における競技施設は、原則として、国民体育大会本大会の会場を使用する。

16. 式典

開会式及び閉会式は、できるだけ簡素なものとする。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 開催基本構想（抜粋）

（令和3年2月15日 第7回常任委員会決定）

《第3章》

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本方針

1 基本方針

宮崎県は、温暖な気候や恵まれた自然、快適なスポーツ環境を生かしたスポーツチームのキャンプや合宿を通して、多くの選手や観光客が訪れるなど、スポーツが地域振興の大きな柱となっています。

第81回国民スポーツ大会及び第26回全国障害者スポーツ大会は、「スポーツの持つ力と可能性」により、広く県民に元気・勇気・感動を与え、県民総参加型による“おもてなしの心”あふれる大会を目指します。

この大会の開催を契機として、競技力の向上や地域スポーツの普及・振興を図り、県民の健康増進や生きがいがいづくりに取り組むとともに、障がい者に対する理解を深め、障がい者の社会参加を進めます。

また、本県の多彩な魅力を全国に向けて発信するとともに「スポーツランドみやざき」の全県展開など、スポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを推進します。

2 実施目標

（1）「チームみやざき」で創りあげる大会

スポーツを「する」、「みる」、「支える」など、県民がそれぞれの立場で大会に関わり、競技会はもちろん、県民運動や文化プログラム等により、大会の開催機運を盛り上げる県民総参加型の大会を目指します。

（2）スポーツの素晴らしさを体感できる大会

指導者の養成やアスリートの育成など、計画的かつ継続的な競技力の向上を図るとともに、県民一人ひとりがスポーツを通じた健康増進や生きがいがいづくりに取り組み、スポーツの喜びや楽しさを享受できる大会を目指します。

（3）宮崎県の魅力を全国に発信する大会

神話や伝統文化、豊かな自然や食に加え、充実したスポーツ環境など、本県の多彩な魅力を全国に向けて発信します。

また、来県する皆様を“おもてなしの心”で温かく迎え、県民とのふれあいや感動の共有による心の絆を深める大会とします。

（4）「未来のみやざき」づくりを進める大会

大会の開催を契機として、スポーツの拠点づくりや地域活性化、スポーツ文化の醸成、さらには「スポーツランドみやざき」の全県展開などに取り組み、スポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを推進します。

(5) 共に支え合う社会づくりを進める大会

スポーツを通じた交流の拡大や障がい者が主体的にスポーツに取り組む環境の整備を図ることで、障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加を推進するとともに、誰もが互いに尊重し、支え合って生きる社会づくりに貢献する大会とします。

《第4章》

「実施目標」の具体的な取組

1 「チームみやざき」で創りあげる大会

(1) 県民運動の推進

- 県民に対し様々な機会を通じて、各種の広報媒体を活用した広報活動等を行うことにより開催機運の醸成を進め、すべての県民が様々な形で自発的、積極的に大会に参加・協力する“おもてなしの心”あふれる県民運動を展開します。
- 県、市町村、関係機関・団体と連携し、大会の開催準備を進めていきます。

(2) ボランティア活動等の推進

- 総合開・閉会式や各競技会、総合案内所等で活躍するボランティアを養成し、ボランティア活動への参加を推進します。
- 競技会を円滑に運営するため、会場地市町村や各競技団体等と連携し、競技役員等の計画的な養成を図ります。

(3) 県内各地での競技会の開催

- 全県的な開催機運の醸成を図るため、また、多くの県民が多様なスポーツに親しむ機会となるよう、可能な限り県内各地で競技会を開催します。

2 スポーツの素晴らしさを体感できる大会

(1) 競技力の向上

- 関係機関・団体等、官民一体で構成する県競技力向上対策本部による競技力向上の推進体制の整備・充実を図ります。
- 全体的な競技力向上を図るとともに、本県選手団の更なる強化のため、ジュニア期からの選手の発掘・育成・強化、有望選手の確保等の取組を推進し、全国大会や国際大会等で活躍できる選手の育成・強化に取り組みます。
- 成年選手、女子選手の活動を支援する体制の整備・充実に努めます。
- スポーツ医・科学的な面から選手をサポートするほか、練習施設・用具の整備などの取組を推進し、練習環境の整備・充実に努めます。

(2) スポーツを支える人材の育成

- 指導者の養成・資質の向上や一貫指導体制の確立など、計画的・効果的な指導体制の充実・強化等に取り組みます。

(3) 健康増進や生きがいつくりの推進

- 大会を契機に、県民一人ひとりのライフステージに応じたスポーツの習慣化に努め、県民の健康増進や生きがいつくりを推進します。
- 豊かで充実した人生100年時代を迎える中で、生涯を通じて、いつでも、どこでも、誰でもスポーツに親しむことができる環境づくりに努めます。

3 宮崎県の魅力を全国に発信する大会

(1) 宮崎県の多彩な魅力の発信

- 神話や伝統文化、豊かな自然や食、充実したスポーツ環境など、本県の多彩な魅力を観光関連団体等と連携しながら、各種の広報媒体を活用した広報活動等を通して全国へ発信します。
- 競技会会場地となる市町村をはじめ、周辺市町村へも来県者等が訪れるよう市町村等と連携し、地域の魅力発信に取り組みます。

(2) 来県者等へのおもてなしの推進

- 県内の駅や空港等に、大会や観光等の様々な情報が入手できる総合案内所を設置し、県内外の方々を“おもてなしの心”で迎えます。
- 地域住民と、参加選手をはじめとする来場者との交流が生まれるよう取り組みます。

(3) 大会文化プログラムの展開

- 宮崎県ならではの文化・芸術に係る展示会や音楽会、郷土の祭り、伝統芸能等に係る事業など、競技観戦以外にも楽しめる「大会文化プログラム」を展開します。

4 「未来のみやざき」づくりを進める大会

(1) 「スポーツランドみやざき」の拠点づくりの推進

- 大会の開催を契機に、県内各地に定着した競技や充実したスポーツ施設を生かした、スポーツの拠点づくりを目指します。

(2) スポーツを生かした地域の振興

- 各地で開催された競技会等がそれぞれの地域に定着することで、地域のスポーツ振興を通じた、活力と魅力に満ちた地域づくりを目指します。

5 共に支え合う社会づくりを進める大会

(1) 国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会の一体的な開催

- 両大会共通の基本方針・計画等を策定するなど、大会の開催準備を一体的に進めていきます。
- 大会における広報や関連イベント等を一体的に行うことにより、障がいに関する理解促進や交流の場を創出します。
- 障がいのあるなしにかかわらず、互いが交流し尊重し合えるような大会運営を目指します。

(2) 障がい者スポーツの振興

- 障がい者を対象とした競技会を開催し、スポーツを通して豊かな生活の実現や競技力の向上を図ります。
- 指導者や審判の養成・確保に取り組むことにより、より多くの障がい者がスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。
- 大会開催を契機として、障がい者に対して、健康増進や交流等、スポーツの魅力を発信します。

(3) バリアフリー等に配慮した大会運営

- バリアフリーに配慮し、誰もが利用しやすい会場づくりに取り組むとともに、宿泊、輸送・交通などにおいても、障がいのある選手や役員が安心して参加することができる大会運営を目指します。
- 手話や点字による案内など情報保障に関する環境を整備し、選手や役員、観客等に分かりやすい情報提供を行います。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 式典基本方針

第81回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）及び第26回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）の式典は、「国民体育大会開催基準要項」、「同規則」及び「全国障害者スポーツ大会開催基準要綱」並びに「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本方針」を踏まえ、「紡ぐ感動 神話となれ」のスローガンのもと、「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」にふさわしい式典とする。

1 基本理念

- (1) 「チームみやざき」の一員である県民が様々な形で参加し、元気・勇気・感動を共有できる式典とする。
- (2) 宮崎の魅力を全国に発信し、来県者をおもてなしの心で温かく迎えるとともに、参加者の記憶に残る式典とする。
- (3) アスリートファーストの視点に立ち、簡素化を図りながらも創意工夫を凝らした式典とする。

2 式典の構成

式典は、国スポ及び障スポ（以下「大会」という。）の開・閉会式、各競技会の表彰式（以下「表彰式」という。）、炬火イベントで構成する。

(1) 大会の開・閉会式

国スポの総合開・閉会式は、「国民体育大会開催基準要項第20項」に規定する式典、役員・選手団入退場及び集団演技で構成する。障スポの開・閉会式は、国スポに準じた構成とする。

(2) 表彰式

国スポの表彰式は、「国民体育大会開催基準要項細則第9項」の規定により構成する。障スポの表彰式は、国スポに準じた構成とする。

(3) 炬火イベント

炬火イベントは、開催に向けた機運を高める行事及び大会の開・閉会式で構成する。

3 式典の企画・運営

(1) 大会の開・閉会式

開・閉会式は、県が企画・運営に当たる。

(2) 表彰式

国スポの表彰式は、県が別に定める要項に基づき、会場地市町村が関係競技団体と協議の上、企画・運営に当たる。障スポの表彰式は、県が会場地市町村及び競技運営主管団体と協議の上、企画し、会場地市町村及び競技運営主管団体が運営に当たる。

(3) 炬火イベント

炬火イベントは、県及び会場地市町村が別に定める要項に基づくものとする。



第81回国民スポーツ大会
第26回全国障害者スポーツ大会



宮崎県準備委員会

第2回警備・消防・防災専門委員会

議事

- 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会
警備・消防・防災基本計画（案） P1～5

【参考資料】

- 1 警備・消防・防災基本方針 P6
- 2 警備・消防・防災基本計画に係る実施体制概略図（案） . . P7



つむぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会



第26回全国障害者スポーツ大会

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 警備・消防・防災基本計画（案）

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会警備・消防・防災基本方針に基づき、県及び会場地市町村は、警察、消防、医療等の関係機関及び団体（以下「関係機関及び団体」という。）と相互に緊密な連携を図り、第81回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）及び第26回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）の次に掲げる業務を実施する。

1 実施業務

(1) 自主警備業務

- ア 自主警備体制の確立に関する事。
- イ 雑踏事故、事件等の防止に関する事。
- ウ 交通整理誘導に関する事。
- エ 関係機関及び団体との緊密な連携に関する事。

(2) 消防・防災業務

- ア 火災その他の災害予防に関する事。
- イ 火災その他の災害発生時の情報収集・伝達、避難誘導及び消防・防災体制（救急・救助体制を含む。）の確立に関する事。
- ウ 関係機関及び団体との緊密な連携に関する事。

(3) 大規模災害・突発重大事案対策業務

- ア 発生に備えた連絡調整体制及び臨時組織体制の整備確立に関する事。
- イ 発生時の情報収集・伝達、避難誘導及び救急・救助体制の確立に関する事。
- ウ 発生時の関係機関及び団体との緊密な連携に関する事。

2 実施場所

(1) 県

- ア 国スポ及び障スポ（以下「両大会」という。）における開・閉会式会場及び主催する関連イベント会場並びにその周辺
- イ 国スポにおける県外開催競技の競技会場、練習会場及び宿泊施設並びにその周辺
- ウ 障スポにおける競技会場、練習会場及び宿泊施設並びにその周辺

(2) 会場地市町村

- ア 国スポにおける競技会場、練習会場、宿泊施設及び主催する関連イベント会場並びにその周辺
- イ 障スポにおける競技会場、練習会場及び宿泊施設並びにその周辺

3 業務内容

(1) 両大会準備期間中

別記1「両大会準備期間中における実施細目」のとおりとする。

(2) 両大会開催期間中

別記2「兩大会開催期間中における実施細目」のとおりとする。

(3) 障スポにおける連携

上記別記1及び別記2の各実施細目に掲げる業務については、県と会場地市町村が連携して実施する。

4 その他

(1) 広域配宿に係る実施業務

国スポにおける広域配宿に係る実施業務については、広域配宿を実施する会場地市町村が県と連携を図り、当該配宿先を所管する関係機関及び団体と協議し、必要な対策を推進する。

(2) 事件・事故防止対策及び防火・防災対策の推進

県及び会場地市町村は、事件・事故防止対策及び防火・防災対策推進のため、関係機関及び団体へ諸対策の協力を依頼する。

(3) その他

この計画に定めるもののほか、必要な事項については、別に定める。

両大会準備期間中における実施細目

1 業務内容

県及び会場市町村が行う業務は、以下のとおりとする。また、県は会場地市町村自主警備実施計画、会場地市町村消防・防災実施計画及び会場地市町村大規模災害・突発重大事案対策実施計画の作成支援を行う。

(1) 自主警備業務

- ア 会場管理運営要綱（仮称）の作成
- イ 自主警備実施計画の作成
- ウ 自主警備体制の整備確立
- エ 実地踏査の実施
- オ 通信体制の整備確立
- カ 施設及び構造物の安全対策の推進
- キ 警備員等の人員確保と事前教育・訓練の実施
- ク 関係機関及び団体との連絡協力体制の確立

(2) 消防・防災業務

- ア 消防・防災実施計画の作成
- イ 消防・防災体制（救急・救助含む）の整備確立
- ウ 実地踏査の実施
- エ 通信体制の整備確立
- オ 消防ポンプ自動車、緊急自動車の配備依頼
- カ 消防機関と連携した消防・防災設備の点検整備及び防火安全対策の推進
- キ 防火・防災意識の啓発活動の推進
- ク 関係機関及び団体との連絡協力体制の確立

(3) 大規模災害・突発重大事案対策業務

- ア 大規模災害・突発重大事案対策実施計画の作成
- イ 発生に備えた情報収集・連絡体制の整備確立
- ウ 発生に備えた通信体制の整備確立
- エ 両大会に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員その他の関係者及び一般観覧者（以下「大会参加者等」という。）の安全確保及び避難誘導體制の整備確立
- オ 発生に備えた救急・救助体制及び医療機関等の協力による救急搬送体制の整備確立
- カ 発生した場合の各種対策の周知

両大会開催期間中における実施細目

1 実施体制

- (1) 県実施本部（仮称）に県警備・消防・防災本部（仮称）を、会場地市町村実施本部（仮称）に会場地市町村警備・消防・防災本部（仮称）を置く。
- (2) 県警備・消防・防災本部（仮称）は開・閉会式会場及び県外競技会場に現地警備・消防・防災本部（仮称）を、会場地市町村警備・消防・防災本部（仮称）は必要に応じて競技会場等に現地警備・消防・防災本部（仮称）を置く。
- (3) 県実施本部（仮称）及び会場地市町村実施本部（仮称）は、大規模災害・突発重大事案が発生又は発生の恐れがある場合、関係機関及び団体と緊密な連携を図りながら迅速かつ的確な初動措置を執るとともに、事案の態様、規模等を勘案し、必要に応じて地域防災計画等に基づき、その体制に移行又は連携協力する。

2 業務内容

県及び会場地市町村が行う業務は、以下のとおりとする。また、県は会場地の消防・防災活動状況の把握を行う。

(1) 自主警備業務

- ア 会場管理運営要綱（仮称）及び施設管理規定に基づく会場管理
- イ 自主警備実施計画に基づく自主警備の実施
- ウ 通信手段の確保、運用
- エ 大会参加者等の案内及び誘導
- オ 関係車両の案内、誘導、交通整理及び駐車場利用状況の把握
- カ 入退場者管理（手荷物検査、持ち込み禁止物一時預かり等）
- キ 雑踏警備の実施
- ク 不審者、不審物の発見と適切な対応
- ケ 会場施設への不法侵入予防、施錠確認等の管理
- コ 犯罪行為等、円滑な大会運営を妨害しようとする者への対応
- サ 迷子、遺失物等への対応
- シ 関係機関及び団体との緊密な連携

(2) 消防・防災業務

- ア 火災の警戒及び初期消火活動
- イ 火災その他の災害情報の収集、伝達及び通報
- ウ 会場定員管理
- エ 会場等における消防用設備等の点検
- オ 消防ポンプ自動車、救急自動車の配備依頼及び通信施設、その他消防・防災業務に必要な機械器具等の配備
- カ 通信体制の確保、運用
- キ 救急・救助及び医療機関等の協力による救急搬送の実施
- ク 火災その他の災害発生時における避難経路の確保及び避難誘導

ケ 関係機関及び団体との緊密な連携

(3) 大規模災害・突発重大事案対策業務

ア 発生時における事案の概要、被害状況の把握及び交通情報の収集

イ 発生時における大会参加者等の安全確保及び避難誘導

ウ 発生時における緊急車両の誘導及び通行路の確保

エ 発生時における救急・救助及び医療機関等の協力による救急搬送の実施

オ 発生時における通信手段の確保、運用

カ 発生時における関係機関との緊密な連携

キ 発生時における県及び市町村災害対策本部との連携(各対策本部が設置された場合)

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 警備・消防・防災基本方針

1 趣旨

第 8 1 回国民スポーツ大会及び第 2 6 回全国障害者スポーツ大会（以下「両大会」という）における警備・消防・防災対策については、警察、消防、医療等の関係機関及び団体との緊密な連携のもとに、警備・消防・防災体制の確立を図り、安全かつ円滑な両大会の運営が行われるよう万全を期するものとする。

2 実施区分

(1) 警備対策

開・閉会式会場、競技会場、練習会場、宿泊施設及び沿道等（以下「会場等」という。）における事件・事故防止を重点とした適切な警備に関する諸対策を講じる。

また、両大会期間中には、関係機関及び団体の協力を得て、防犯対策を推進し、犯罪の防止に努める。

(2) 消防・防災対策

会場等の火災その他の災害予防並びに災害発生時における情報収集・伝達、避難誘導、救急・救助等に関する諸対策を講じる。

また、大会期間中の火災その他の災害予防及び発生時の被害軽減を図るため、関係機関及び団体等の協力を得て、防火・防災意識の高揚を図る。

(3) 大規模災害・突発重大事案対策

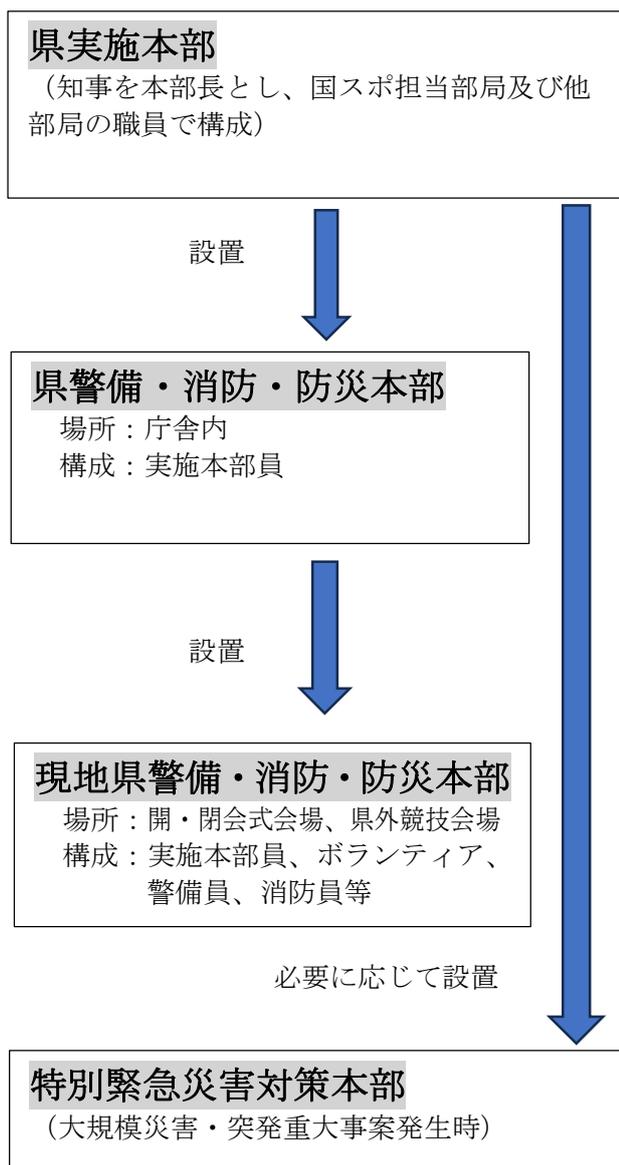
会場等での大規模災害及び突発重大事案発生時における情報収集・伝達、避難誘導、救急・救助等に関する諸対策を講じる。

(4) 関係機関及び団体との連絡調整

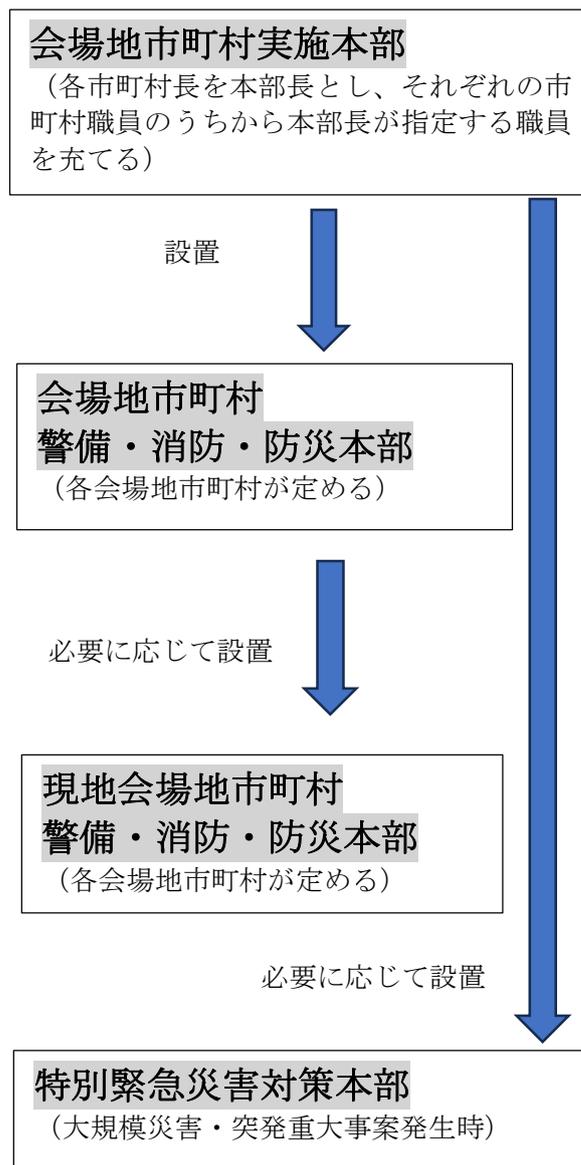
県及び会場地市町村は、関係機関及び団体と緊密な連携を保つとともに、情報連絡体制を確立し、警備・消防・防災対策の円滑な推進を図る。

警備・消防・防災基本計画に係る実施体制概略図（案）

i) 県



ii) 会場地市町村





第81回国民スポーツ大会
第26回全国障害者スポーツ大会



宮崎県準備委員会

第2回警備・消防・防災専門委員会

その他

- 今後のスケジュールについて
- 【参考資料】年次スケジュール



つせ
紡ぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会

2027

第26回全国障害者スポーツ大会

今後のスケジュールについて

1. R6年度の業務内容

R5 (参考)	○警備・消防・防災基本計画策定 ○会場地市町村警備・消防・防災業務の手引き作成
R6	○開・閉会式等実施計画及び会場管理運営要綱作成 開・閉会式等自主警備業務実施計画 開・閉会式等消防・防災業務実施計画 開・閉会式等大規模災害・突発重大事案対策業務実施計画 開・閉会式会場管理運営要綱 ○各市町村に競技会場地実施計画の作成を依頼

2. 実施計画について

今年度策定した基本計画を基に自主警備、消防・防災、大規模災害・突発重大事案対策業務の各分野別に具体的な業務内容や組織体制を定めた実施計画を策定する。

(1) 県

開・閉会式(式典リハーサル含む)会場及び障スポ競技会場における実施計画を各分野別に作成。

自主警備	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の実施期日及び実施場所 ・平常時における活動(交通誘導・通行管理、雑踏警備、入場者管理等)、事件・事故等発生時における対応(本部で取るべき措置、現場で取るべき措置)について ・記録、通報・連絡の系統 <p style="text-align: right;">等</p>
消防・防災	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の実施期日及び実施場所 ・火気等使用予防管理について(各施設管理者の承認を得る必要のある場所、火気使用時の遵守事項) ・平常時の業務(予防管理・点検事項、記録・報告、不備等の措置)及び火災発生時における業務(通報・連絡、初期消火、避難誘導・救護支援) <p style="text-align: right;">等</p>
大規模災害・突発重大事案	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の実施期日及び実施場所 ・大規模災害及び突発重大事案の定義及び発生時に行うべき業務 ・特別緊急災害対策本部の編成について ・大規模災害等対策業務に関する研修・訓練の内容について <p style="text-align: right;">等</p>

(2) 会場地市町村

会場地市町村警備・消防・防災業務の手引き(R5に県が作成)に基づき、各市町村が国スポにおける競技会場地の実施計画を各分野別に作成。

3. 会場管理運営要綱について

開・閉会式の会場における秩序の保持と式典の円滑な運営を図るため、会場に入場し、又は入場しようとする全ての者が遵守すべき事項を定める。

○遵守事項(一部)

- ・持ち込み禁止物
- ・禁止行為
- ・入場制限等

警備・消防・防災専門委員会に係る主なスケジュール

【凡例】 ... 市町村取り組み事項

細目	2022年(R4)	2023年(R5)	2024年(R6)	2025年(R7)	2026年(R8)	2027年(R9)
	開催5年前 (開催内定)	開催4年前	開催3年前 (開催決定・会期決定)	開催2年前	開催1年前	開催年
開催地	栃木	鹿児島	佐賀	滋賀	青森	宮崎
国スポ・障スポ 競技別会期	競技別会期 素案作成	1次案	2次 → 最終 → 決定		国スポリハーサル大会	障スポリハーサル大会 本大会
全体計画	<p>警備・消防・防災 専門委員会設置</p> <p>警備・消防・防災 基本方針</p> <p>○業務の趣旨、大枠、体制確立 について定める</p>	<p>警備・消防・防災 基本計画</p> <p>○県及び会場地市町村の各業 務に関する基本的事項につい て定める</p> <p>会場地市町村 警備・消防・防災 業務の手引き</p> <p>○会場地市町村が実施すべき 業務の実施計画（会場地市町 村実施計画）を策定する上で 基本となる警備・消防・防災 基本計画の解説を示す</p>	<p>開・閉会式等 各実施計画</p> <p>○基本方針を基に警備、消防、 防災の各分野別に具体的な業 務内容等を定める</p> <p>開・閉会式会場 管理運営要綱</p> <p>○開・閉会式会場において入場 者等が遵守すべき事項を定める</p> <p>会場地市町村実施計画</p> <p>○競技会場における警備・消 防・防災業務の実施計画の作 成を市町村に依頼する</p>	<p>開・閉会式等 自主警備・交通警備計画 (委託)</p> <p>○開・閉会式（リハーサル含 む）における警備員の配置運 用、警備資機材の設置運用等 を会場平面図に落とし込む</p> <p>開・閉会式等 会場防災計画（委託）</p> <p>○開・閉会式（リハーサル含 む）における火災等予防警戒 の対策や発生時の対応、避難 経路等の詳細を定める</p>	<p>開・閉会式等 業務マニュアル（委託）</p> <p>○開・閉会式（リハーサル含む）に おける係員の具体的な業務内容につ いて整理し、実施本部員・ボラン ティアそれぞれのマニュアルを作成 する</p> <p>会場地市町 村業務マニュアル策定</p> <p>○競技会場における警備・消防・防災 業務の実施計画の作成を市町村に依 頼する※障スポ競技会場については 県が作成する</p>	<p>警備・消防・防災本部設置</p>
警備	警備・消防・防災 基本方針策定	警備・消防・防災 基本計画策定	会場地市町村警備・消防・防災 業務の手引き作成	自主警備業務実施計画策定 会場管理運営要綱策定 会場地市町村実施計画	開・閉会式等 自主警備・交通警備 計画書作成（委託）	開・閉会式等業務マニ ュアル作成（委託）
消防・防災				消防・防災業務実施計画策定 会場地市町村実施計画	開・閉会式等 会場防災計画書作成 (委託)	会場地市町村業務マニ ュアル策定
大規模災害・ 突発重大事案対策				大規模災害・突発重大事案 対策業務実施計画策定 会場地市町村実施計画	※大規模災害・突発重 大事案発生対策も含む	国スポ開・閉会式リハ ーサル（訓練）
						障スポ開・閉会式リハ ーサル（訓練）
						警備・消防・防災本部設置
						開・閉会式会場警備（委託）

※ 先催県を参考に作成したものであり、今後、業務内容やスケジュールの変更もありうる。